

上越市障害者計画
第8期障害福祉計画
第4期障害児福祉計画

ニーズ調査アンケート結果報告書

上越市 健康福祉部 福祉課

1 調査の概要について

○ 目的

障害（児）福祉計画の作成に当たり、障害者の生活実態や福祉サービスに対するニーズを把握し、障害のある人が生涯を通じて安心して生活が送れるようにするための必要な支援策の検討に活用することを目的に実施したもの。

○ 調査期間：令和7年10月3日（金）～10月22日（水）

○ 調査方法：郵送により調査票を配布し、紙またはオンラインにより無記名で回答を回収した。

- 対象者：①障害児通所サービス利用者の保護者（18歳以下）
②障害児通所サービス未利用者の保護者（18歳以下）
③障害福祉サービス利用者（19歳以上）
④障害福祉サービス未利用者（19歳以上）※手帳所持者のうち

○ 対象者数：1,785人（児童：645人〔全数調査〕、大人：1,140人〔抽出調査〕）

○ 回答数及び回答率

区 分	回答数 (対象者数)	回答率	郵送	オンライン	オンライン 回答率※
18歳以下	345人 (645人)	53.5%	185人	160人	46.4%
19歳以上	643人 (1,140人)	56.4%	545人	98人	15.2%
合計	988人 (1,785人)	55.4%	730人	258人	26.1%

〔内訳〕

区 分	回答数 (対象者数)	回答率	郵送	オンライン	オンライン 回答率※
①18歳以下のサービス利用者	247人 (463人)	53.3%	127人	120人	48.6%
②18歳以下のサービス未利用者	98人 (182人)	53.8%	58人	40人	40.8%
③19歳以上のサービス利用者	298人 (528人)	56.4%	266人	32人	10.7%
④19歳以上のサービス未利用者	345人 (612人)	56.4%	279人	66人	19.1%

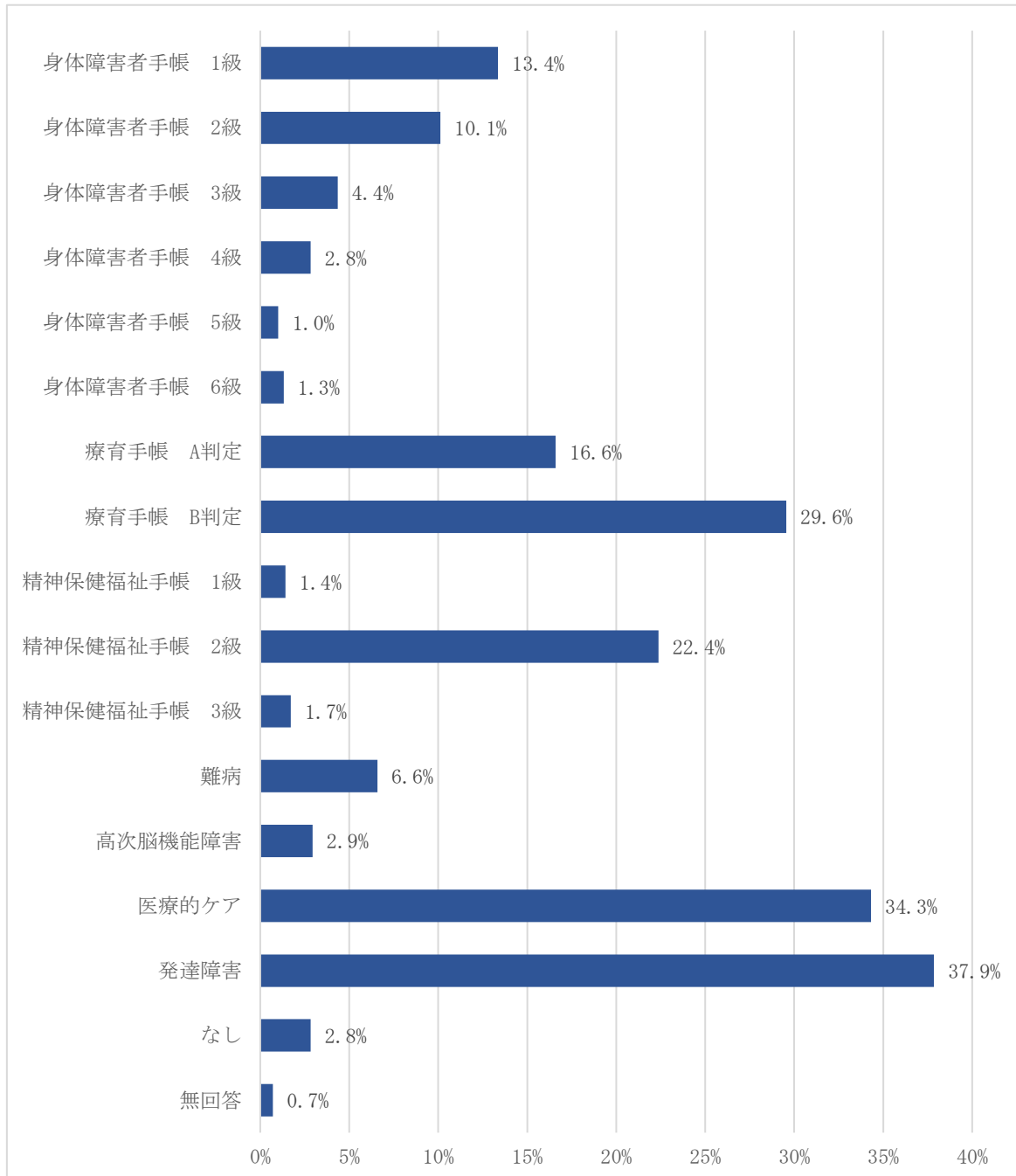
※回答数に占めるオンライン回答の割合

○調査項目一覧

設問分類／区分	回答者		
	【19歳以上】 障害福祉サービス 利用者	【19歳以上】 障害福祉サービス 未利用者	【18歳以下】 障害福祉サービス 利用者・未利用者
対象者について (性別、手帳の種類・等級、難病、発達障害、 高次脳機能障害、医ケア)	○	○	○
現在どのように生活しているか	○	○	
今後どのように暮らしたいか	○	○	
地域で生活するために必要な支援	○	○	
外出について	○	○	
平日日中の過ごし方	○	○	
今後日中どのように過ごしたいか	○	○	
就労の支援について	○	○	
相談相手は誰か	○	○	○
特に困ったり、不安に思っていること	○	○	○
福祉関連の情報の主な入手方法	○	○	○
今後どのような情報が必要か	○	○	○
今後利用したい障害福祉サービスについて	○		○
差別の経験	○	○	○
成年後見制度の認知度	○	○	
災害時の避難について	○	○	○
災害時に困ること	○	○	○
意見・要望	○	○	○

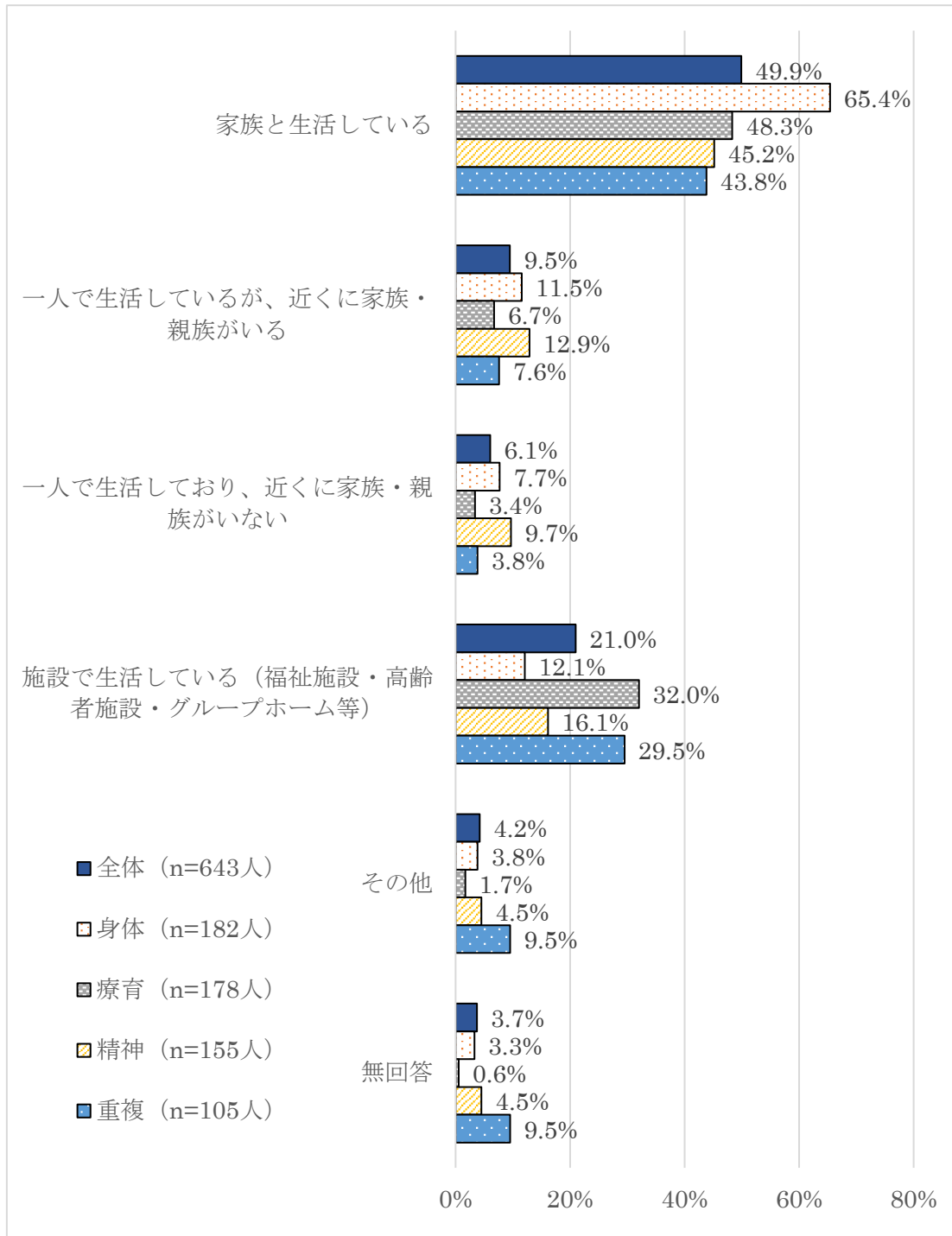
2 調査の結果

問 1 あなたの手帳の種類と等級等について。(複数回答)



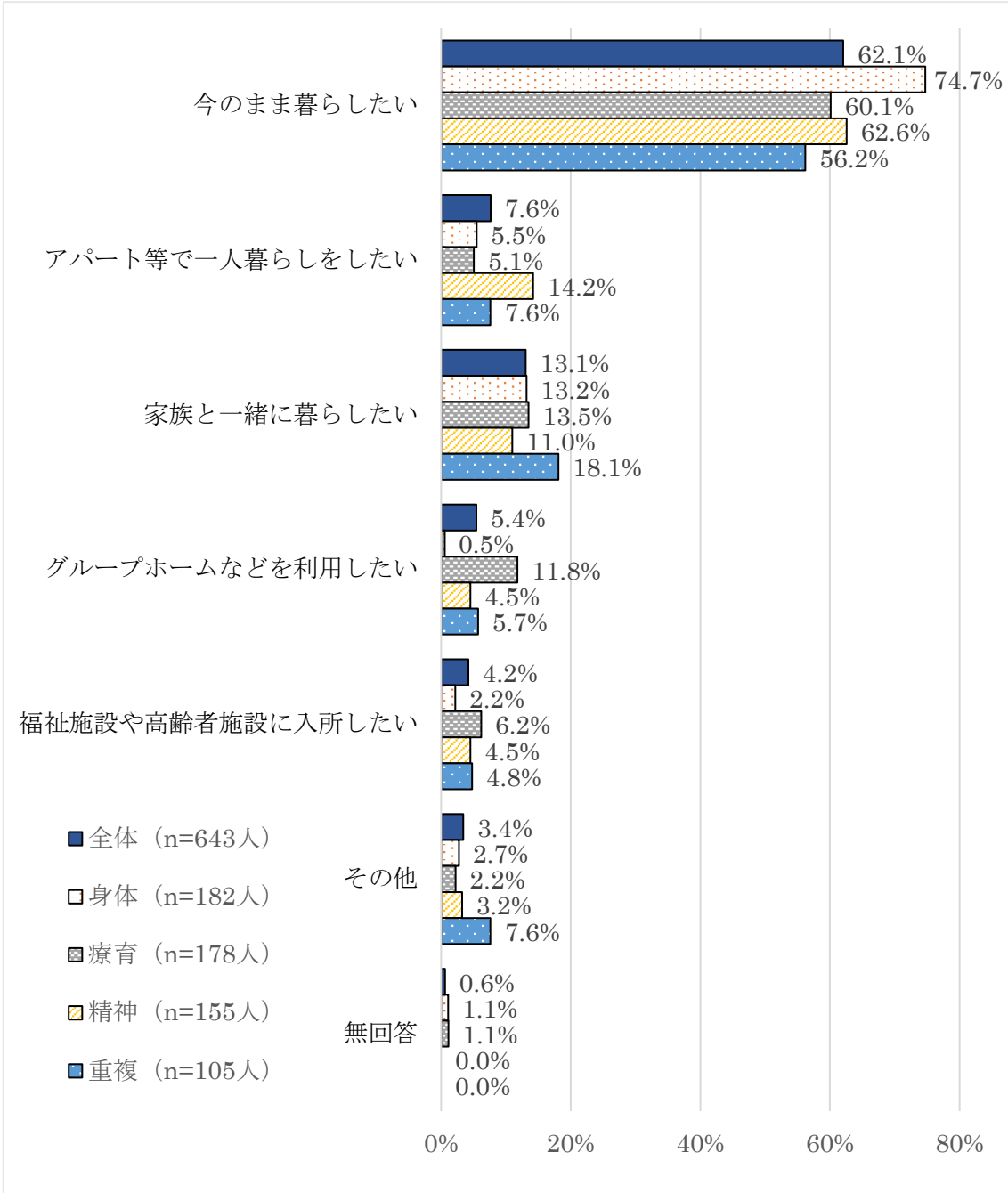
- ・「発達障害」が 37.9%で最も高く、次いで「医療的ケア」が 34.3%、「療育手帳 B 判定」が 29.6%である。
- ・手帳種別ごとの合算値は、「身体障害者手帳」が 33.1%、「療育手帳」が 46.2%「精神保健福祉手帳」が 25.5%である。

問 2	【19 歳以上の方のみ回答】(n=643 人　うち手帳の所持について無回答 23 人) 現在、あなたはどのように生活していますか。
-----	--



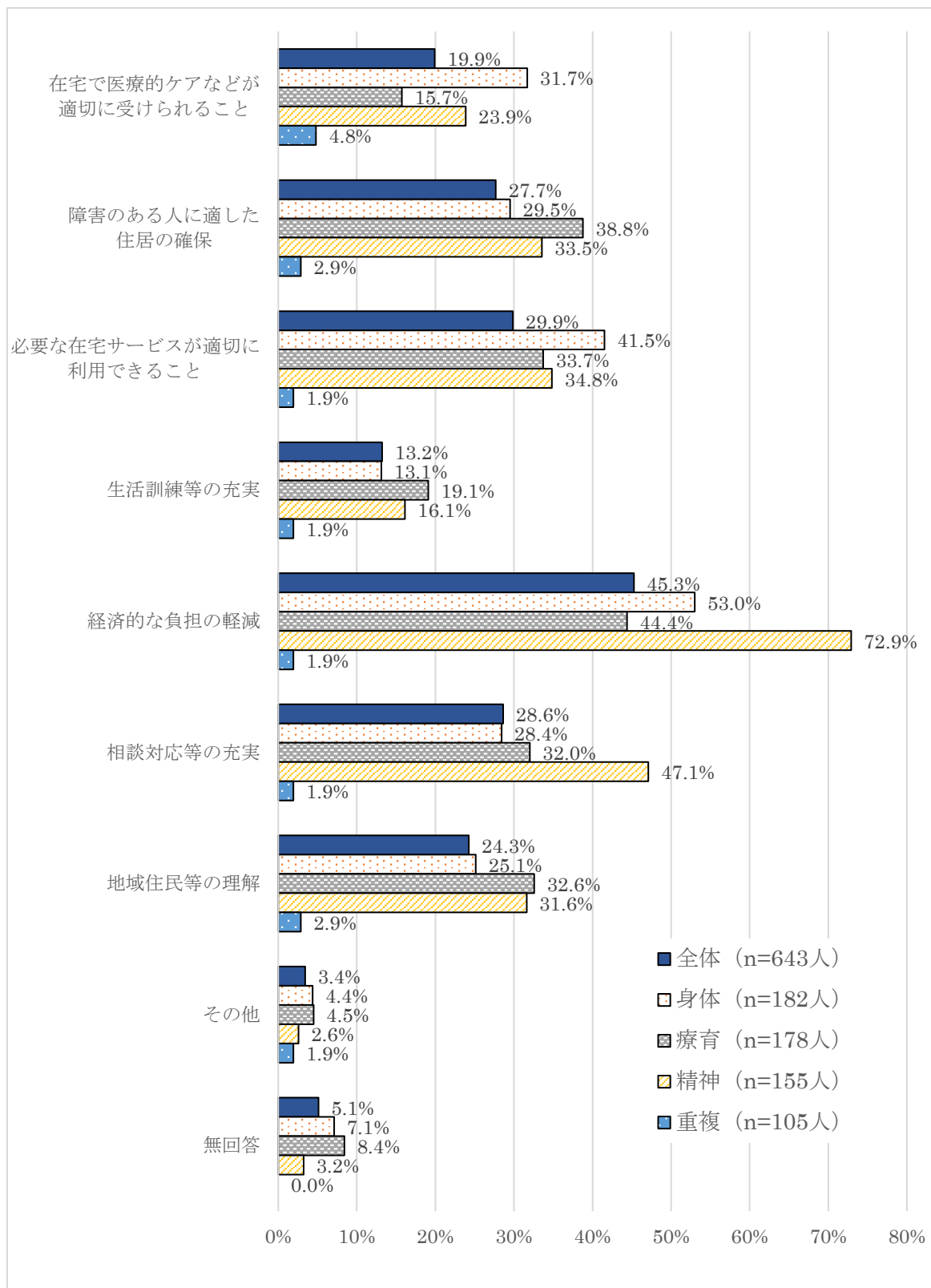
・どの区分においても、「家族と生活している」が最も高く、次いで「施設で生活している」が続いている。

問 3	【19 歳以上の方のみ回答】(n=643 人　うち手帳の所持について無回答 23 人) 今後、あなたはどのように暮らしたいと思いますか。
-----	---



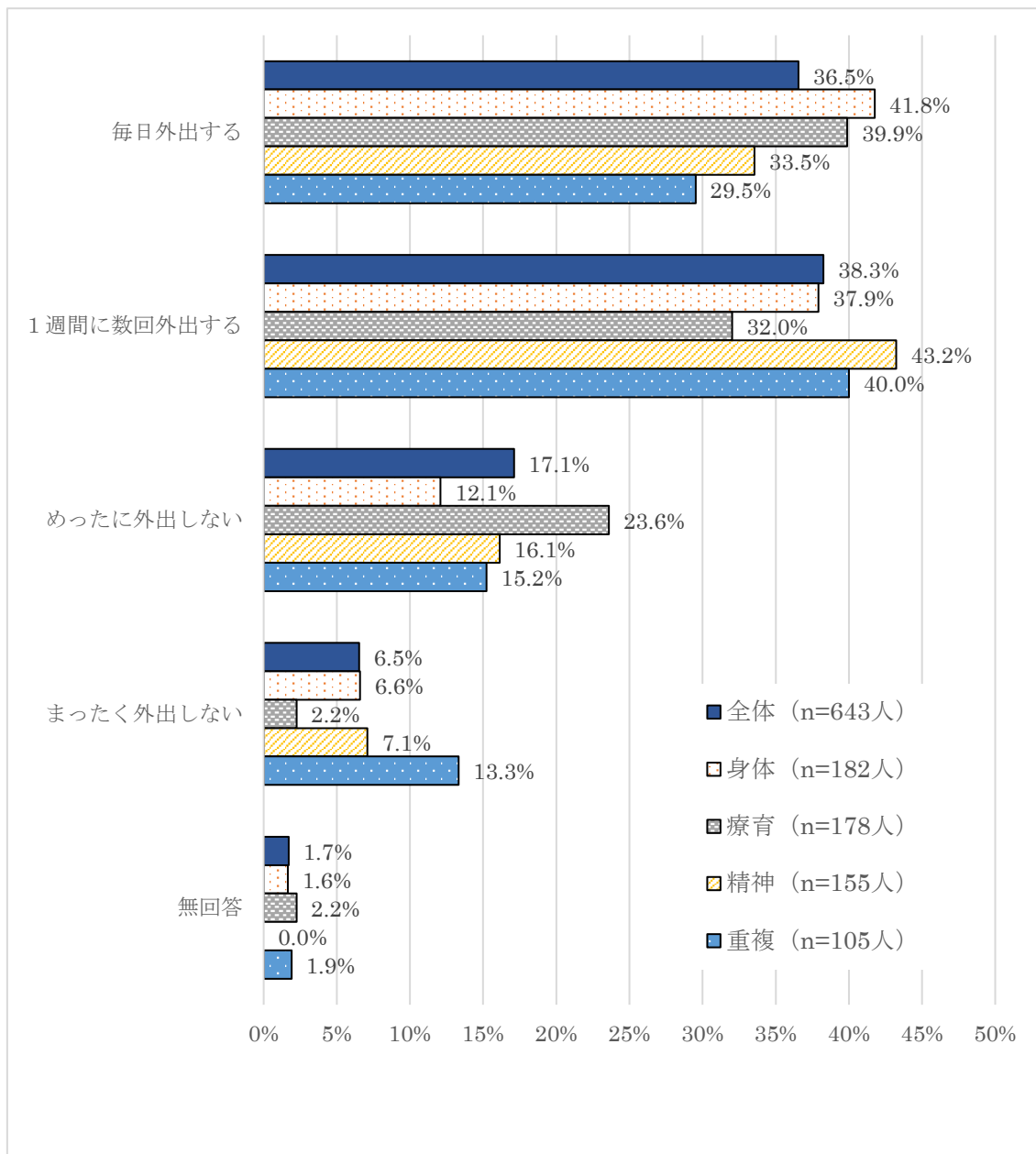
- ・どの区分においても「今のまま暮らしたい」が最も割合が高い。
- ・「グループホームなどを利用したい」と「福祉施設や高齢者施設に入所したい」は、全体の合算値で 9.6%である。

問 4	【19歳以上の方のみ回答】(n=643人　うち手帳の所持について無回答23人) 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。 (複数回答)
-----	--



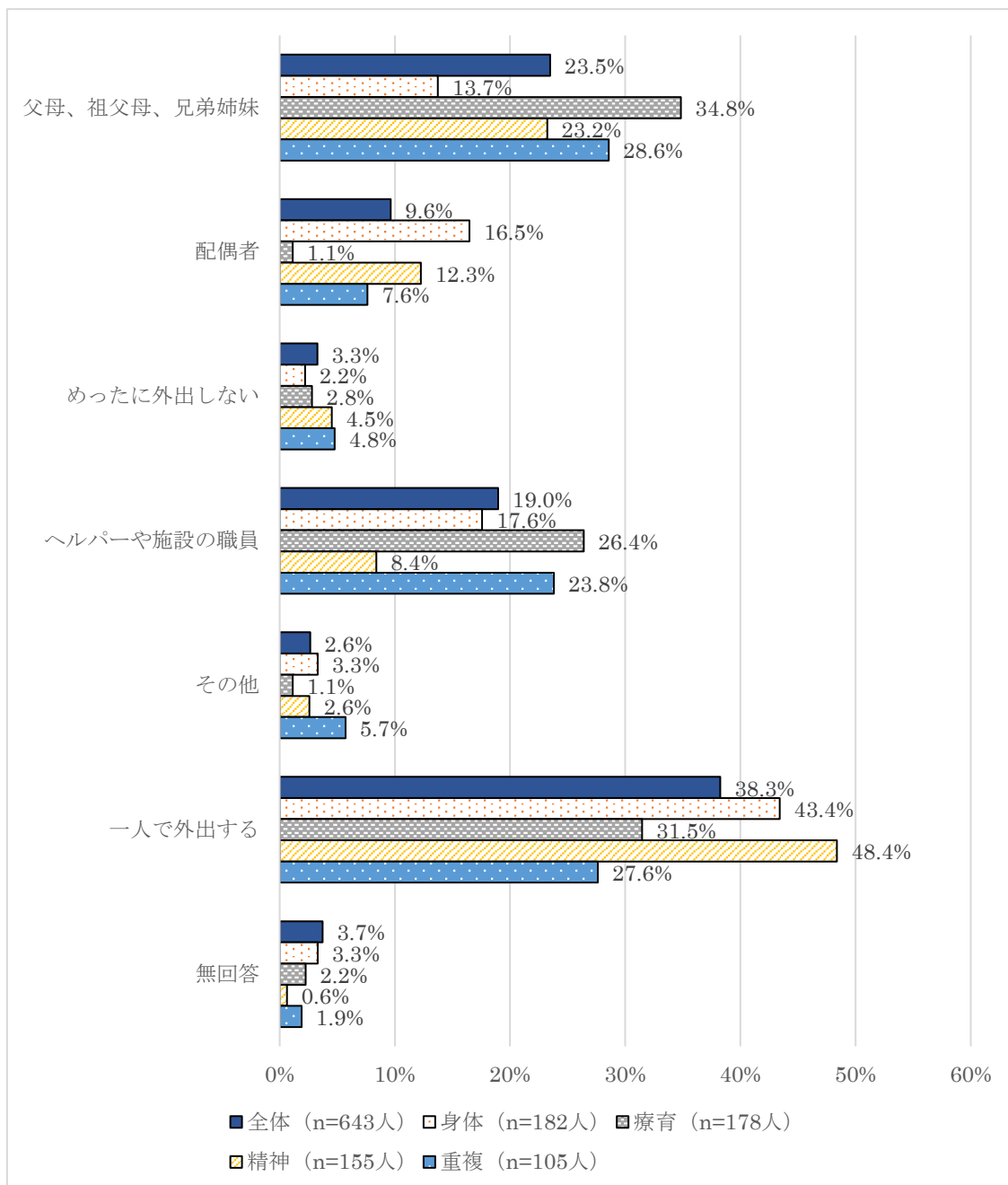
- ・全体、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者では「経済的な負担の軽減」が最も高い。
- ・複数の手帳の所持者においては、「在宅で医療的なケアが適切に受けられること」が最も高くなっている。
- ・身体障害者手帳の所持者では、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」が40%を超えている。

問 5	【19 歳以上の方のみ回答】(n=643 人　うち手帳の所持について無回答 23 人) あなたは、1 週間にどの程度外出しますか。
-----	--



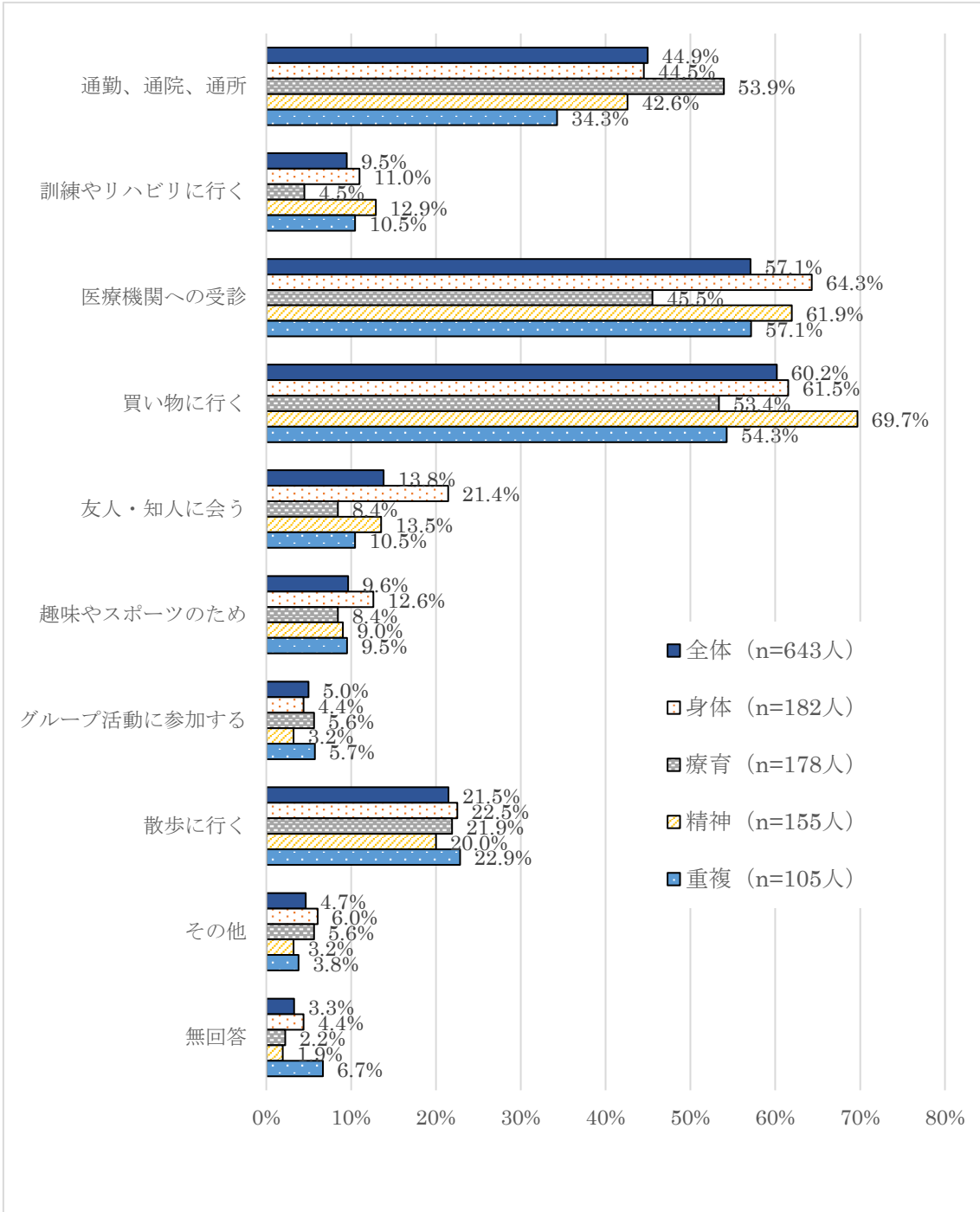
- ・全体では「毎日外出する」「1 週間に数回外出する」をあわせると 74.8%となっている一方で「まったく外出しない」との回答が 6.5%となっている。
- ・複数の手帳の所持者においては、「まったく外出しない」が 13.3%となっており、他の区分と比較して高い傾向が見られる。

問 6	【19 歳以上の方のみ回答】(n=643 人　うち手帳の所持について無回答 23 人) あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。
-----	--



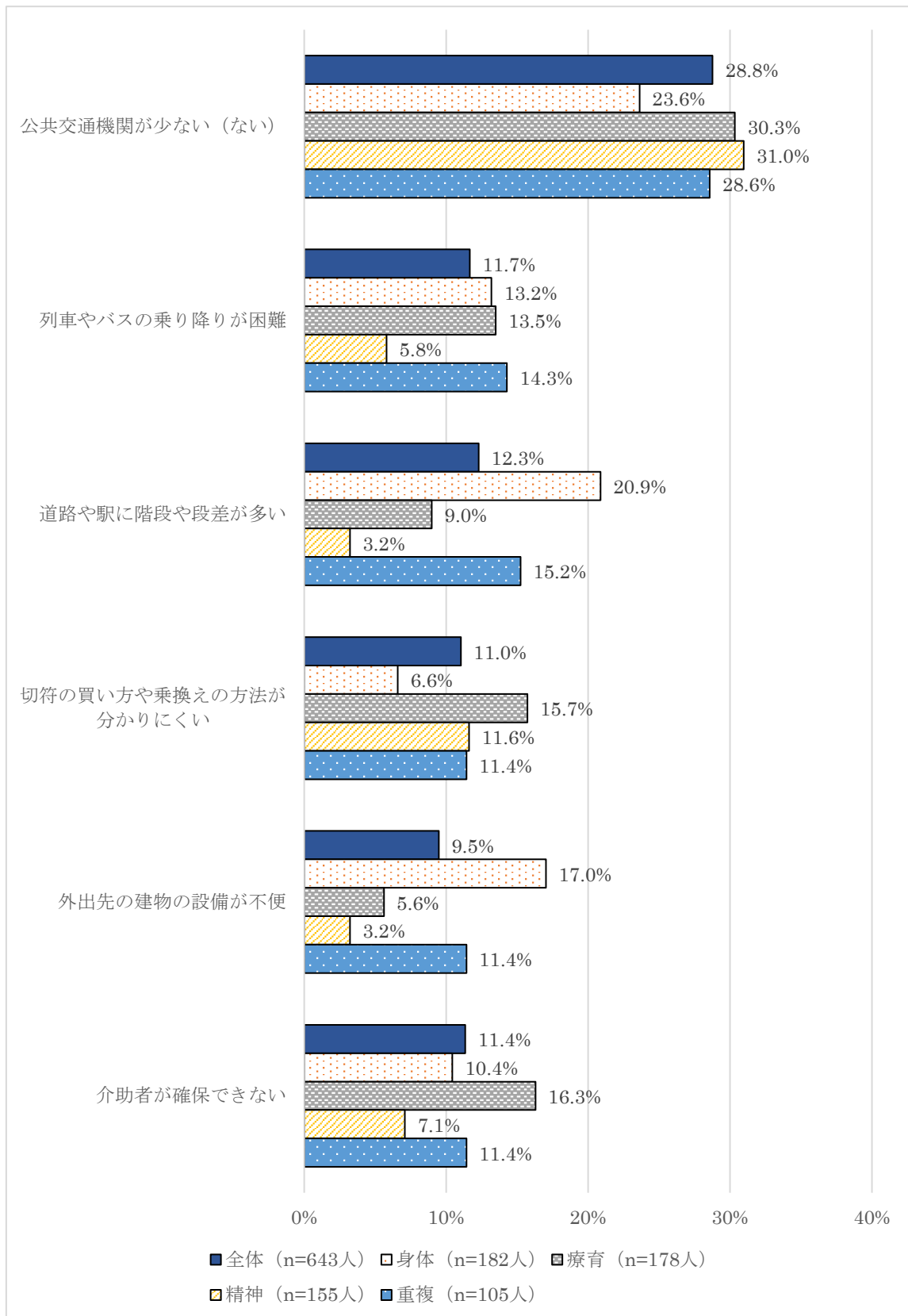
- ・全体では、「一人で外出する」が最も高く、療育手帳の所持者、複数の手帳の所持者では「父母、祖父母、兄弟姉妹」が最も高い。
- ・複数の手帳の所持者においては、他の区分に比べて「一人で外出する」割合が低い傾向が見られる。

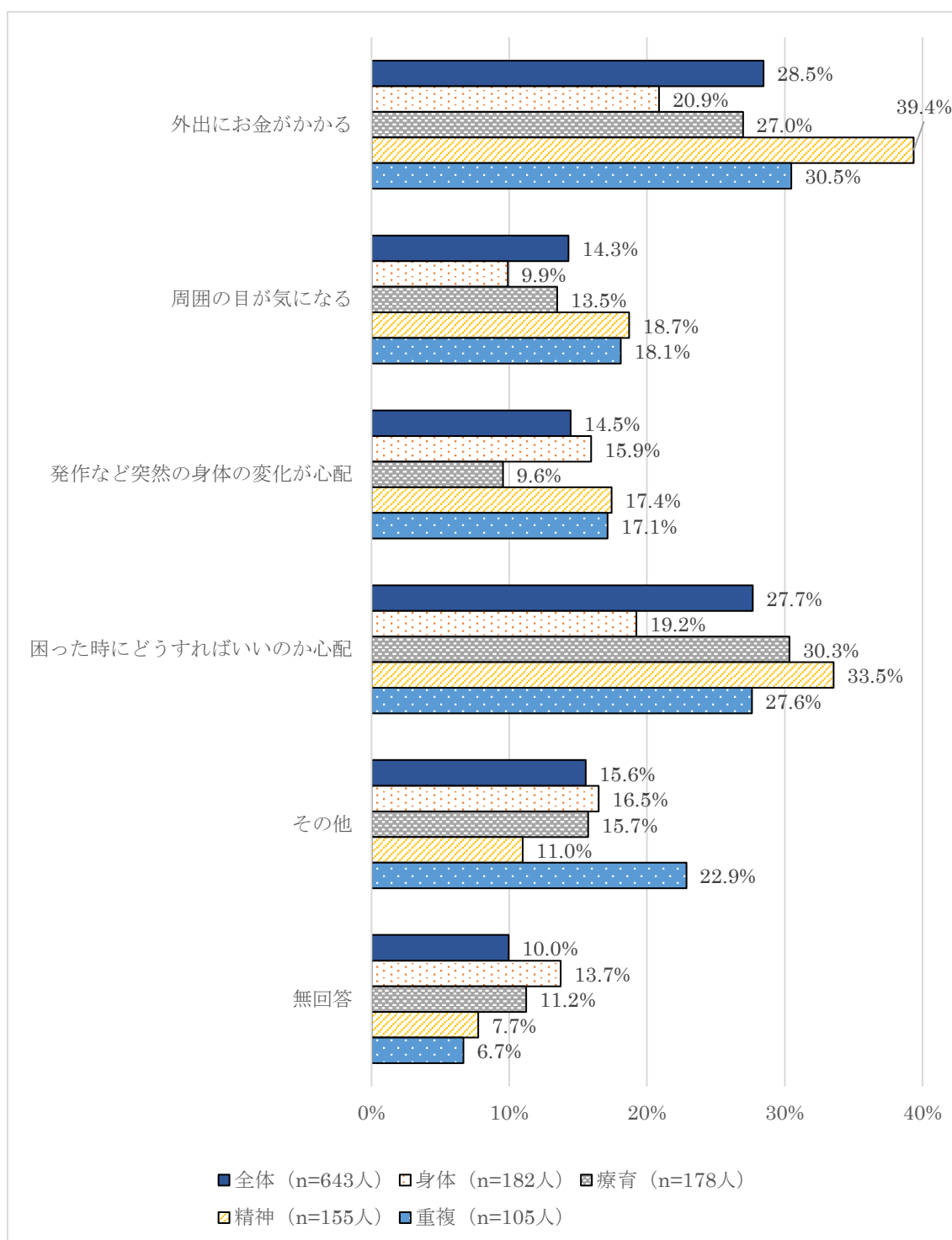
問 7	【19 歳以上の方のみ回答】(n=643 人 うち手帳の所持について無回答 23 人) あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。 (複数回答)
-----	--



- ・どの区分においても「医療機関への受診」「買い物に行く」が高い傾向にある。
- ・療育手帳の所持者では、「通勤、通院、通所」が最も高くなっている。
- ・「散歩に行く」は、全区分で 20%を超えている。

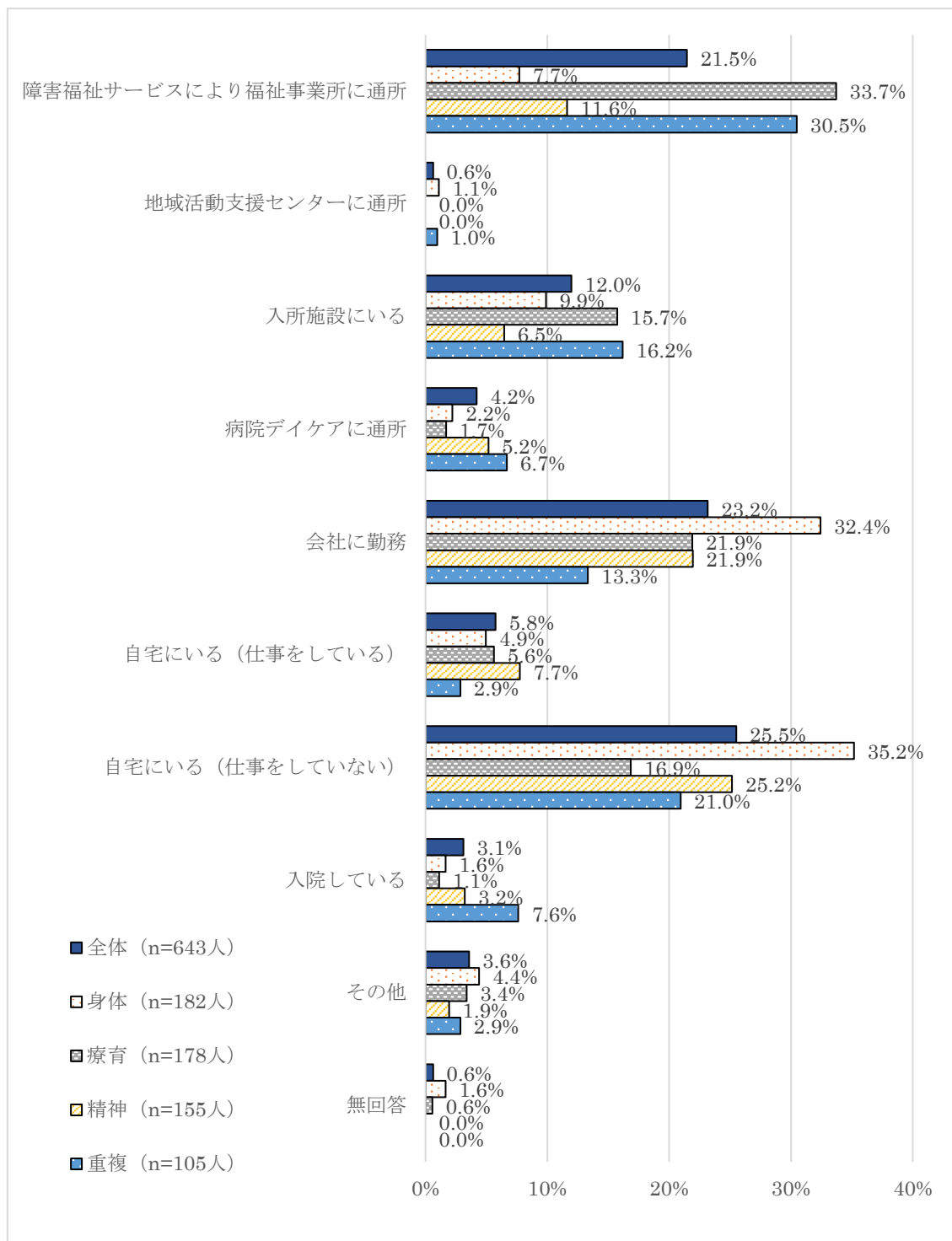
問 8	【19 歳以上の方のみ回答】(n=643 人　うち手帳の所持について無回答 23 人) 外出する時に困ることは何ですか。(複数回答)
-----	---





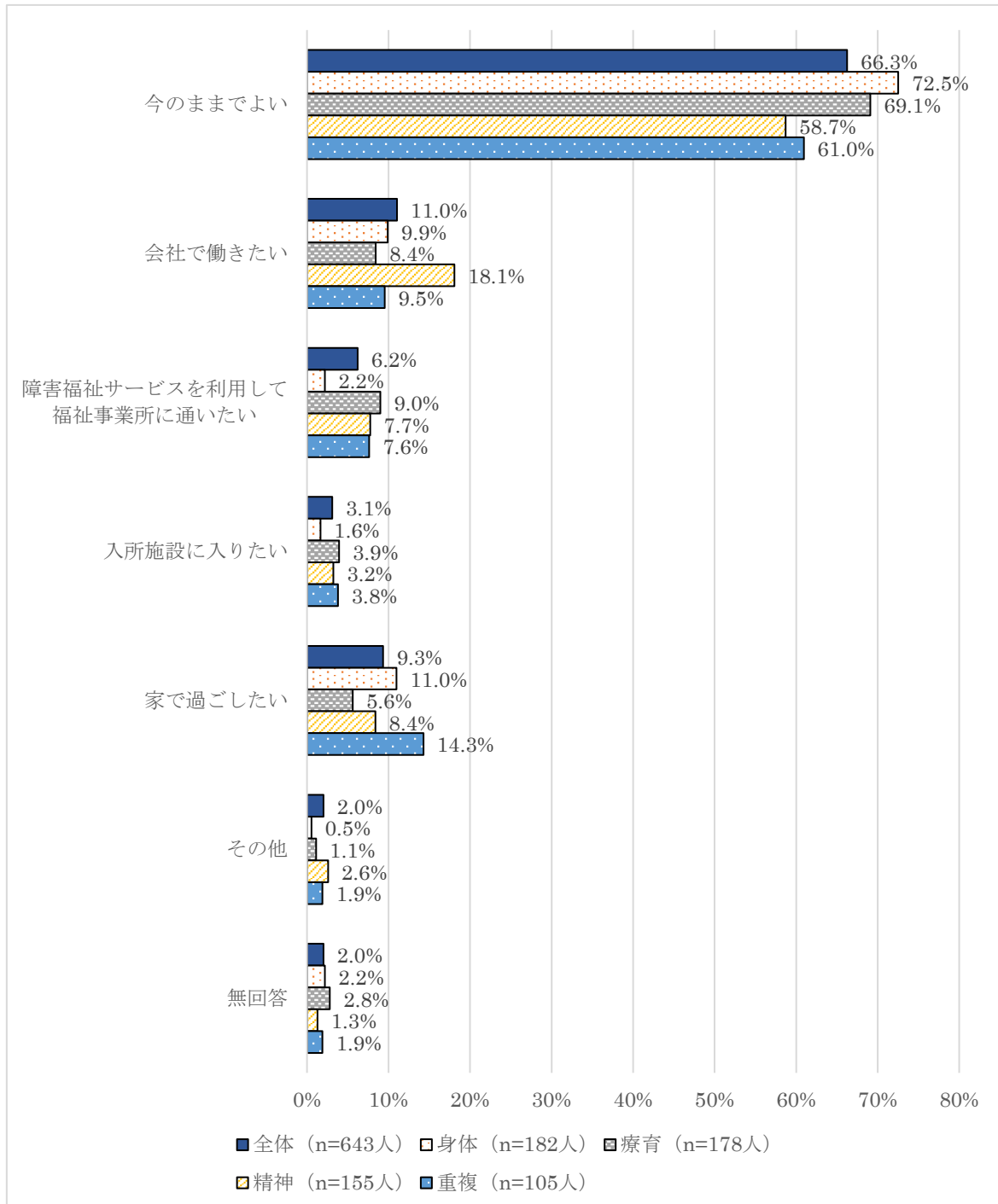
- ・精神障害者保健福祉手帳の所持者では、「公共交通機関が少ない（ない）」「外出にお金がかかる」「困った時にどうすればよいのか心配」それぞれ30%を超えている。
- ・身体障害者手帳の所持者では、「道路や駅に階段や段差が多い」が20.9%となっている。
- ・複数の手帳の所持者において、「外出にお金がかかる」が最も高い。

問 9	【19 歳以上の方のみ回答】 平日の日中、主にどのようにお過ごしですか。
-----	--



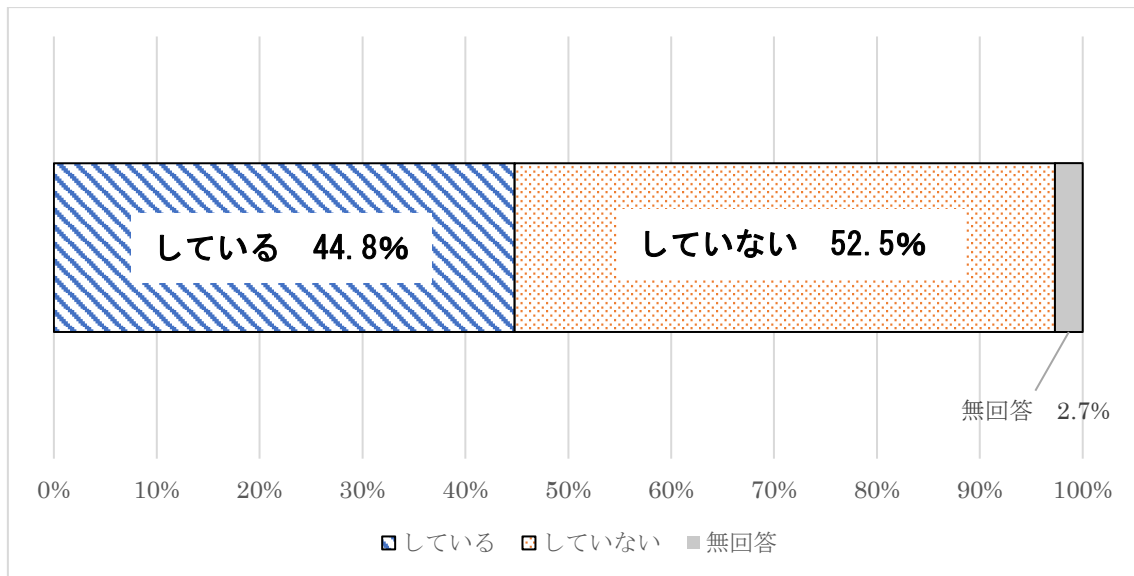
- ・療育手帳の所持者と複数の手帳所持者では、「福祉事業所に通所」の割合が 30%を超えている。
- ・身体障害者手帳所持者において、「会社に勤務」と「自宅にいる（仕事をしていない）」の割合がそれぞれ 30%を超えている。

問 10	【19歳以上の方のみ回答】(n=643人　うち手帳の所持について無回答 23人) 今後、あなたは日中、主にどのように過ごしたいと思いますか。 (複数回答)
------	---

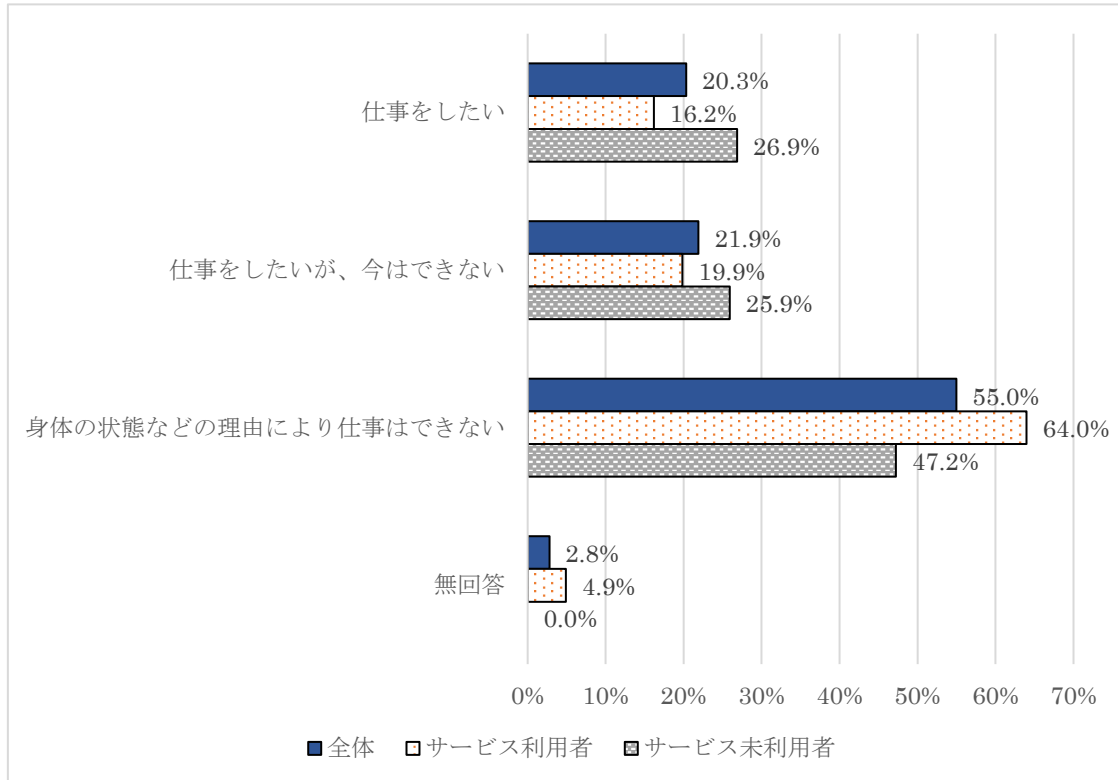


- どの区分においても、「今のままでよい」の割合が最も高くなっている。
- 精神保健福祉手帳の所持者では、「会社で働きたい」の割合が高い。

問 11-1	【19 歳から 65 歳までの方の回答 n=478】 現在、あなたは自宅や会社などで仕事をしていますか。
--------	--

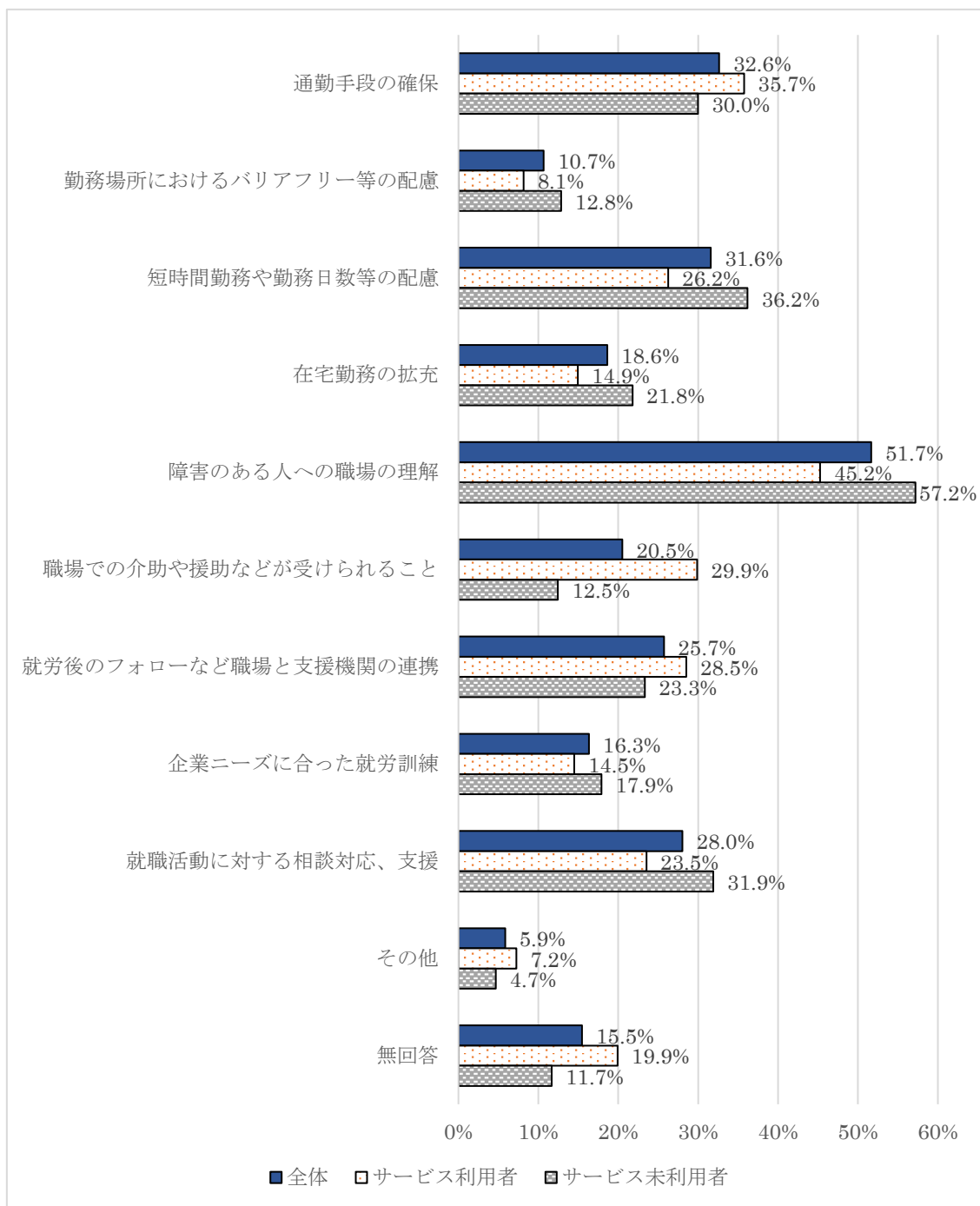


問 11-2	【問 11-1 で「していない」と回答した人】 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。
--------	---



- ・どの区分においても、「身体の状態などの理由により仕事はできない」の割合が最も高い。

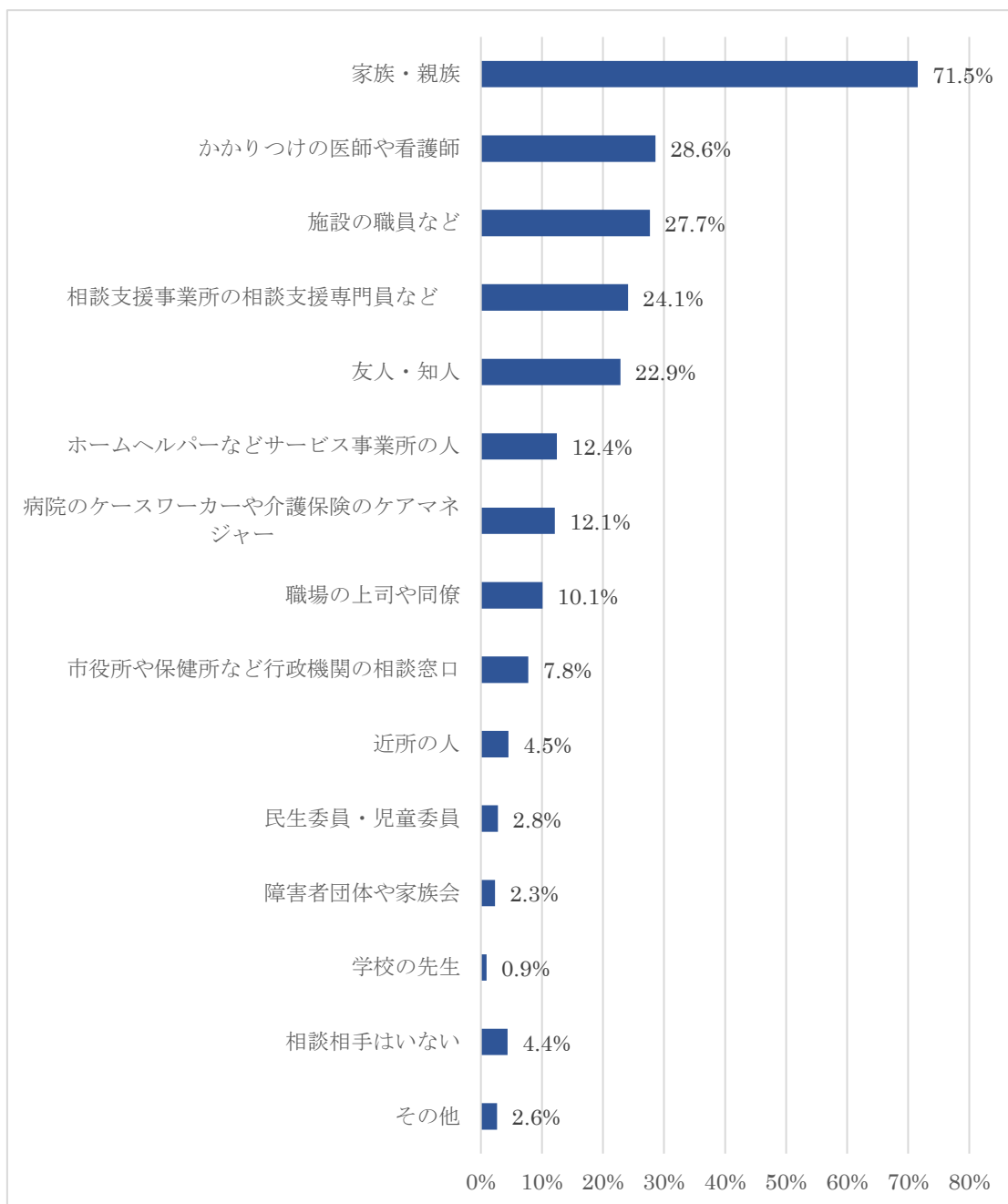
問 12	【19 歳から 65 歳までの方の回答 n=478】 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。 (複数回答)
------	---



- どの区分においても「障害のある人への職場の理解」の割合が高くなっている。
- サービス未利用者では、「短時間勤務や勤務日数等の配慮」の割合が30%を超えている。
- サービス利用者では、「通勤手段の確保」の割合が30%を超えている。

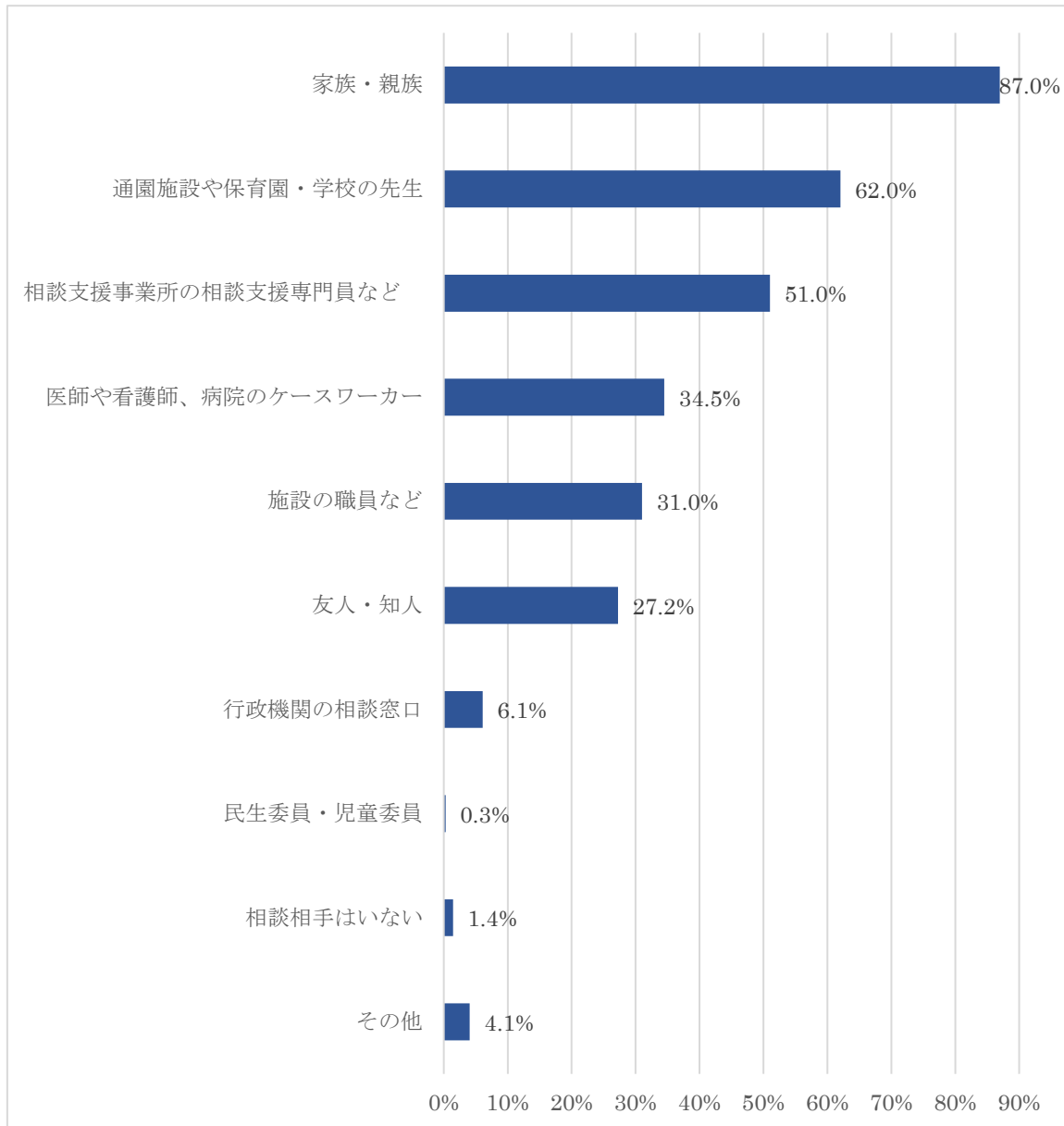
問 13	相談相手は誰ですか。（複数回答）
------	------------------

【19 歳以上の方の回答】



- ・「家族・親族」の割合が70%を超えており最も高い。
- ・「かかりつけの医師や看護師」、「施設の職員など」の割合も、それぞれ25%を超えている。
- ・「相談相手がない」と回答した割合は4.4%となっている。

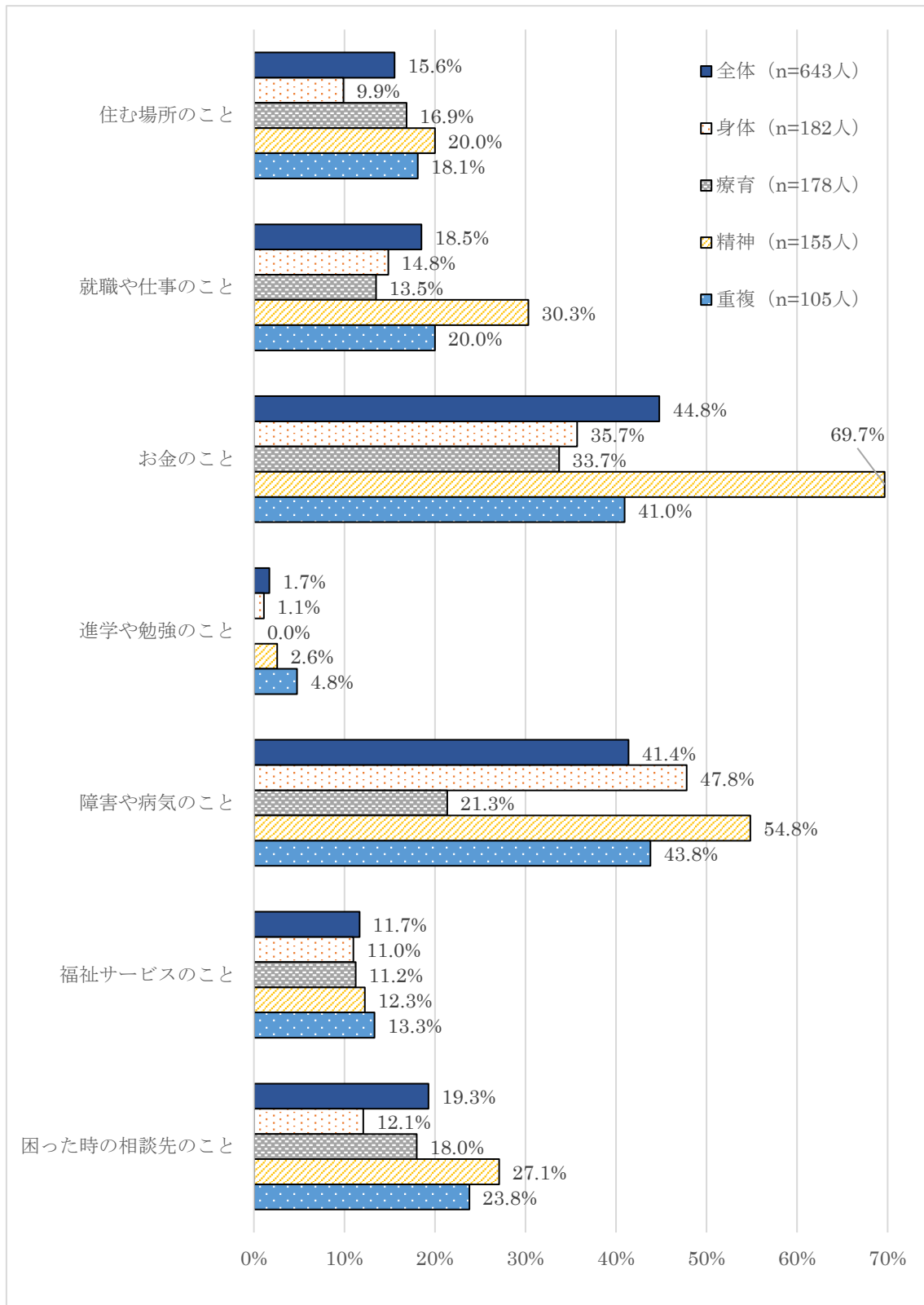
【18 歳以下の方の回答】

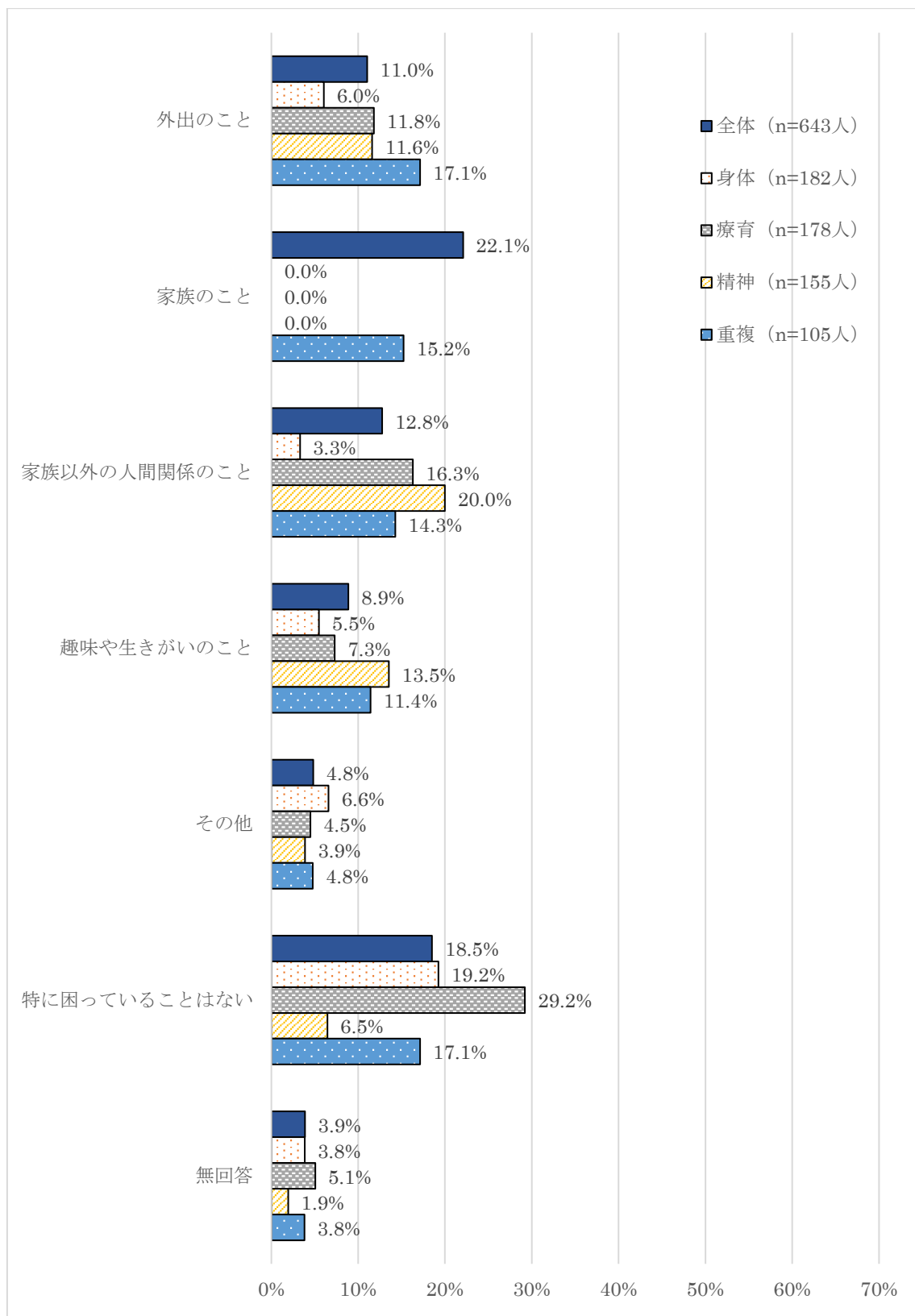


- ・「家族・親族」の割合が 87% で最も高い。
- ・「通園施設や保育園・学校の先生」、「相談支援事業所の相談支援専門員など」の割合も、それぞれ 50% を超えて高くなっている。
- ・「相談相手がいらない」と回答した割合は 1.4% となっている。

問 14	現在、あなたが特に困ったり、不安に思っていることは何ですか。 (複数回答)
------	--

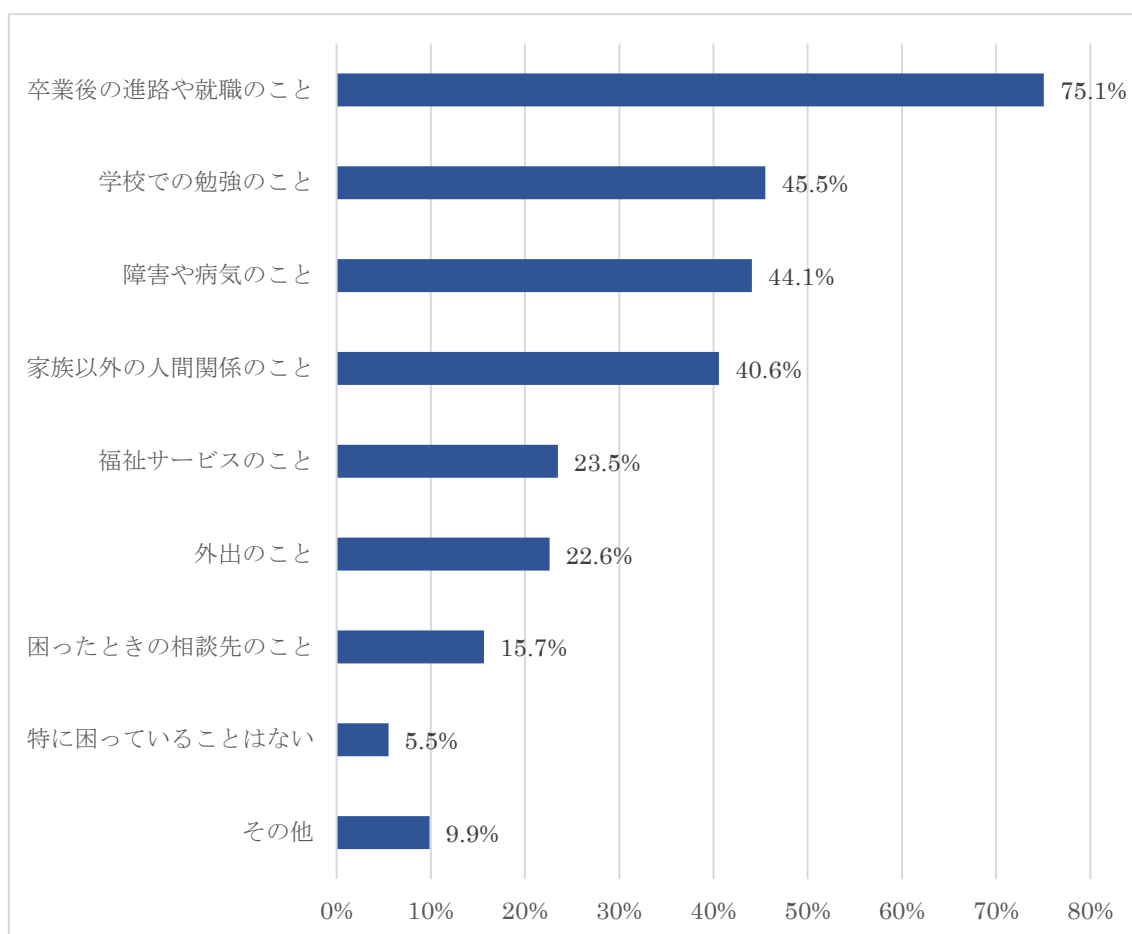
【19歳以上の方の回答】(n=643人　うち手帳の所持について無回答 23人)





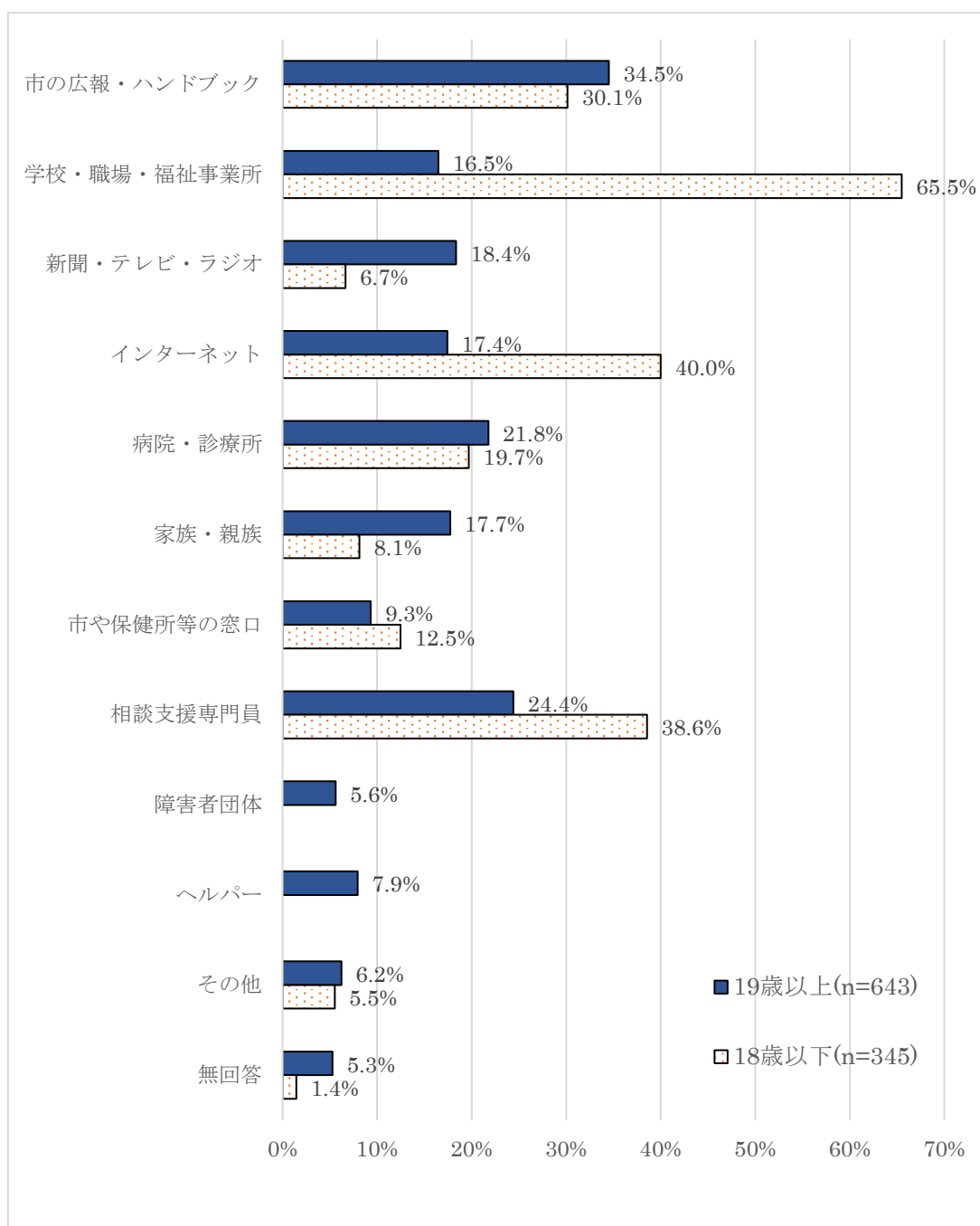
- 全体としては、「お金のこと」の割合が最も高く、次いで「障害や病気のこと」が高い。
- 療育手帳の所持者においては、「お金のこと」に次いで「特に困っていることはない」が高い。

【18 歳以下の方の回答】



- ・「卒業後の進路や就職のこと」が最も割合が高く、次いで「学校での勉強のこと」、「障害や病気のこと」と続く。
- ・「学校での勉強のこと」「障害や病気のこと」「家族以外の人間関係のこと」の割合がそれぞれ40%を超えている。
- ・「特に困っていることはない」は5.5%となっている。

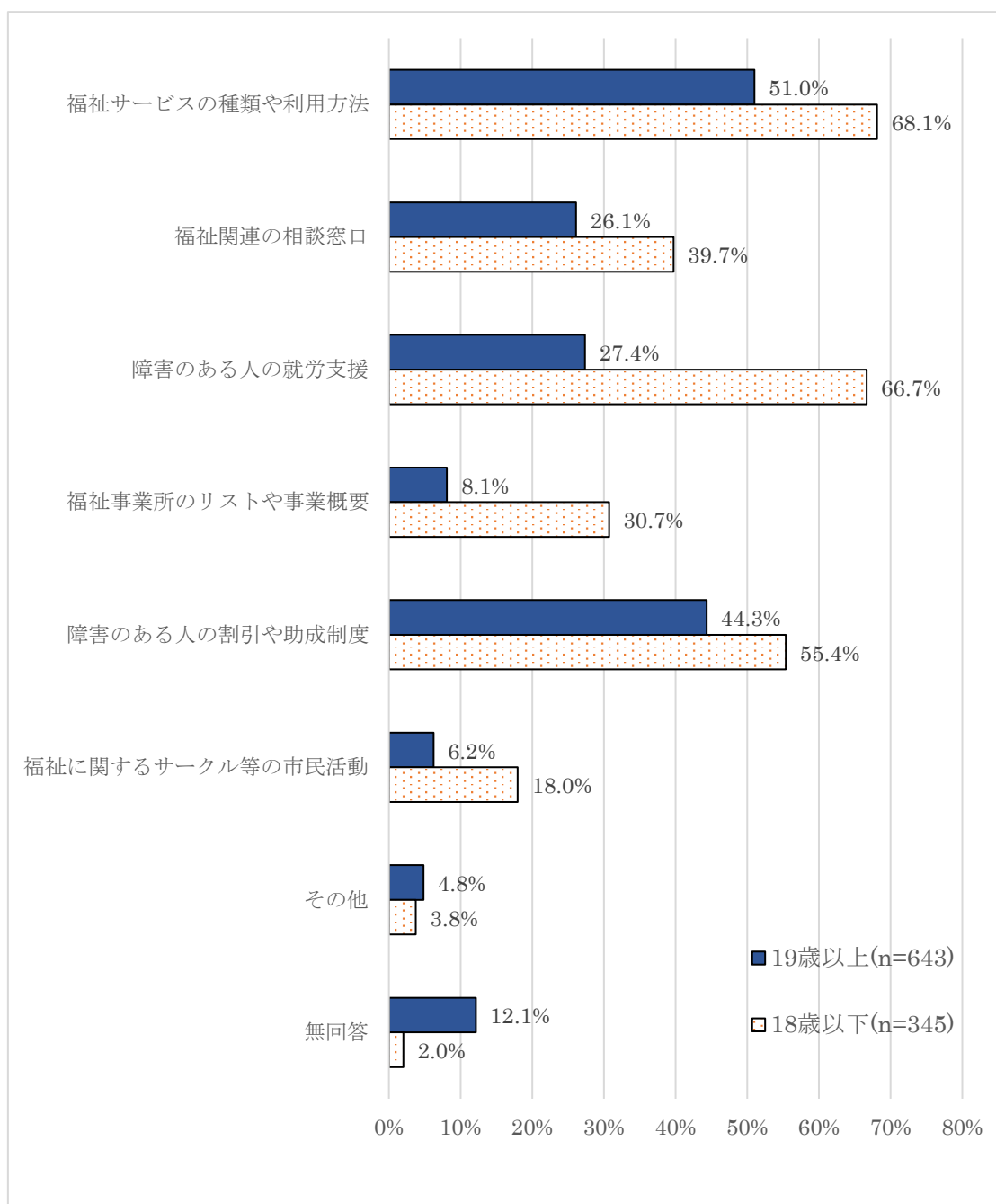
問 15 福祉関連の情報を主にどこから入手していますか。(複数回答)



※18 歳以下については、「障害者団体」と「ヘルパー」の選択肢なし

- ・19 歳以上では「市の広報・ハンドブック」が最も高く、次いで「相談支援専門員」が続く。
- ・18 歳以下では「学校・職場・福祉事業所」が最も高く、次いで「インターネット」、「相談支援員」と続く。

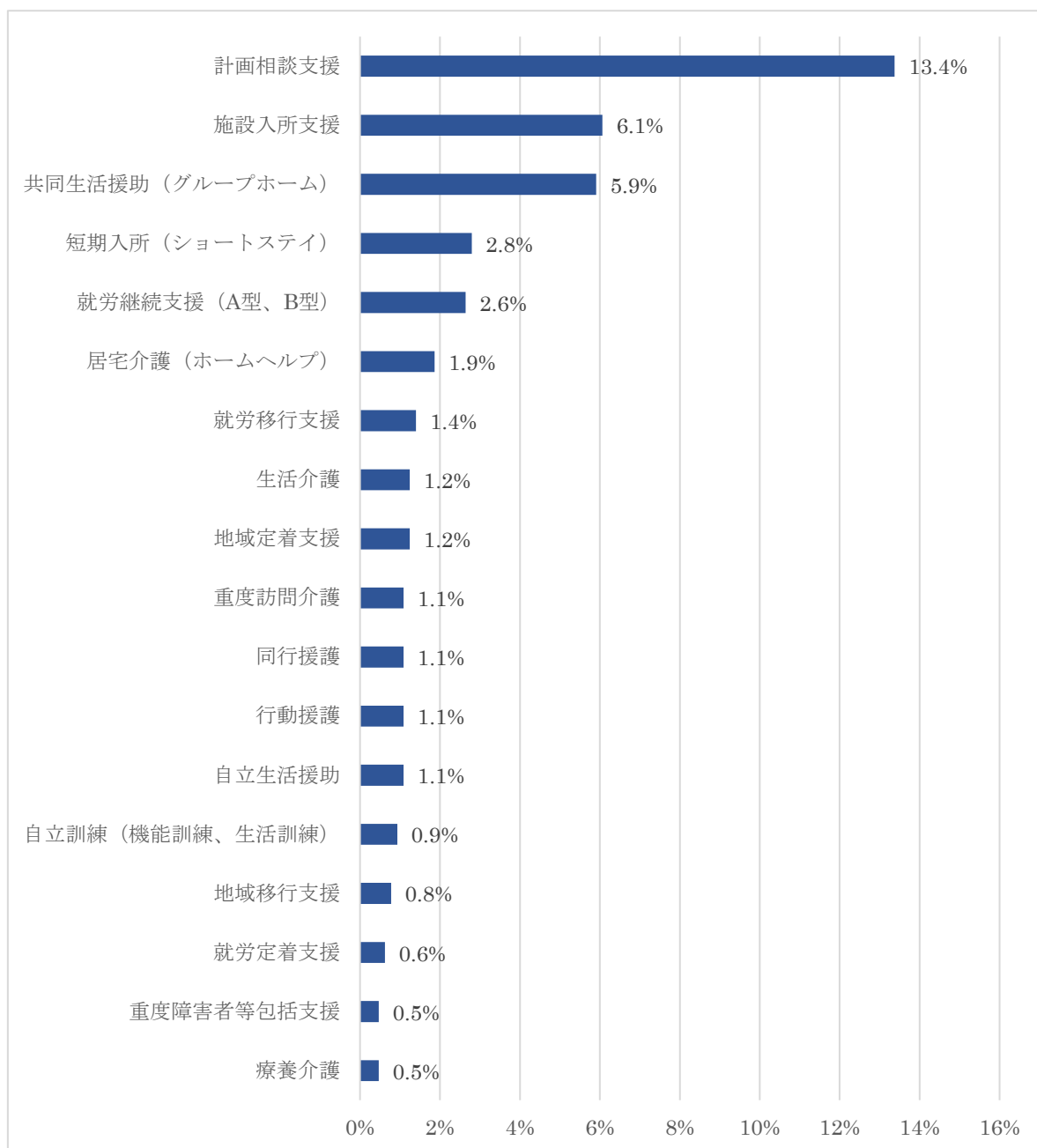
問 16 今後、福祉関連のどのような情報が必要ですか。（複数回答）



- どちらの区分も「福祉サービスの種類や利用方法」が最も高く、19歳以上では「障害のある人の割引や助成制度」が、18歳以下では「障害のある人の就労支援」が続いた。

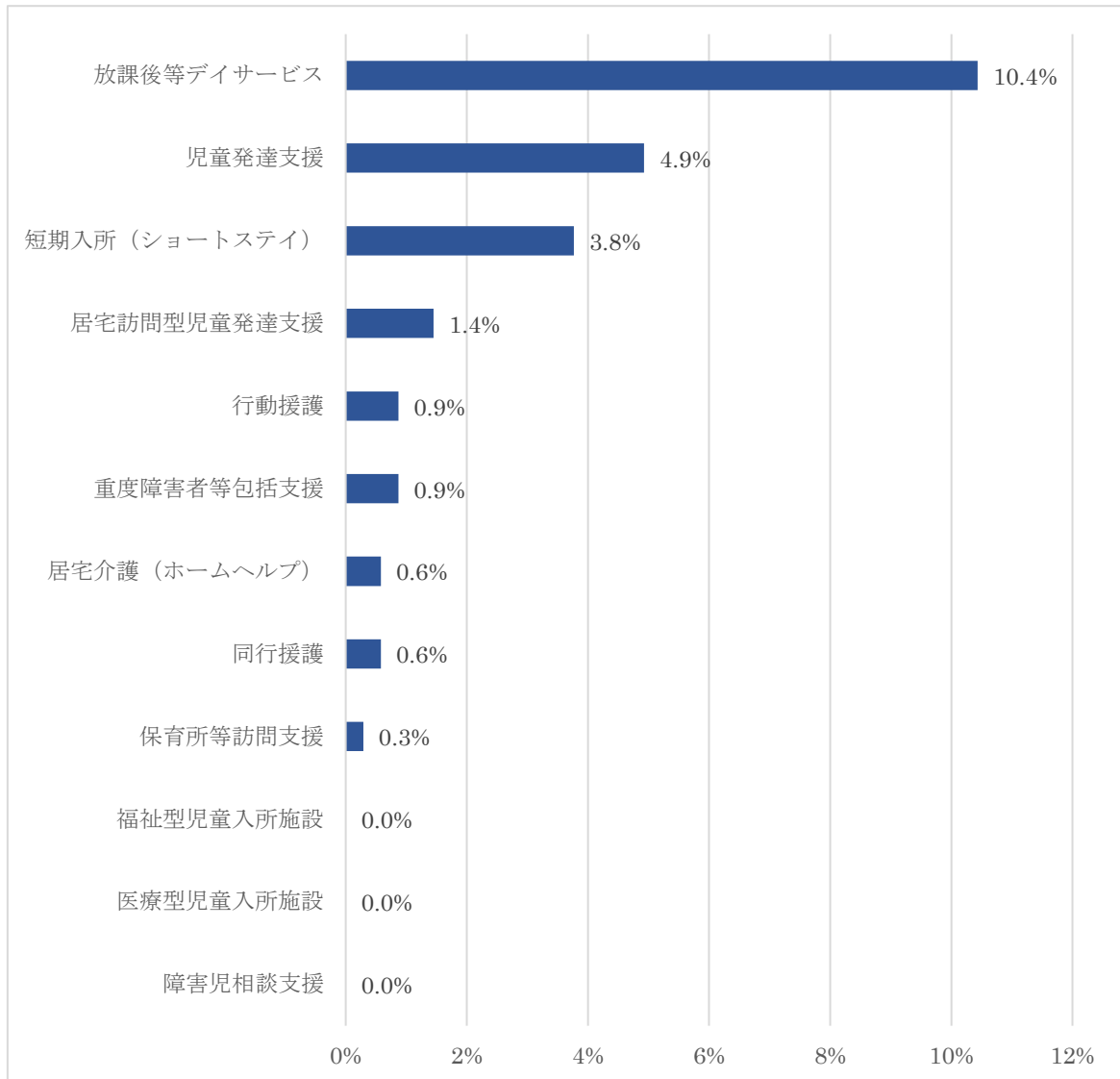
問 17	今後 3 年以内に利用を増やしたり、新たに利用してみたいサービスは何ですか。（複数回答）
------	--

【19 歳以上の方の回答】



- ・「計画相談支援」の割合が 13.4%と最も高い。
- ・「施設入所支援」6.1%、「共同生活援助（グループホーム）」5.9%の割合も高い。

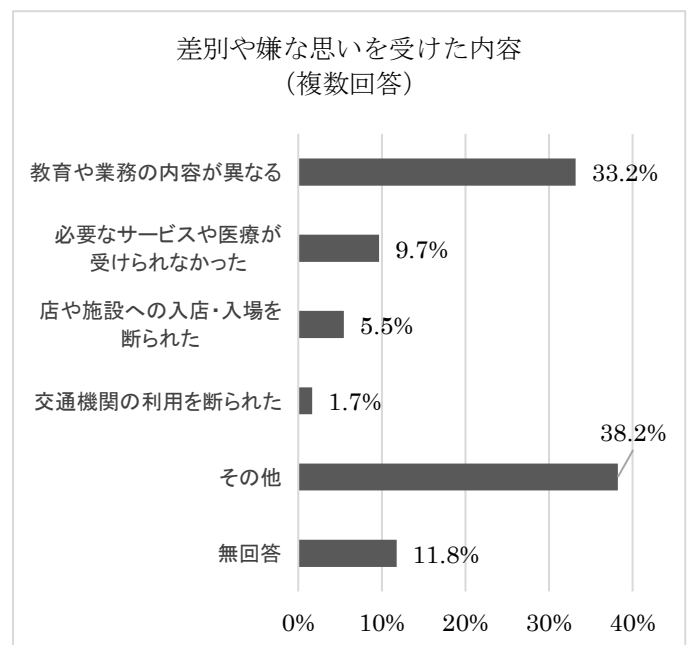
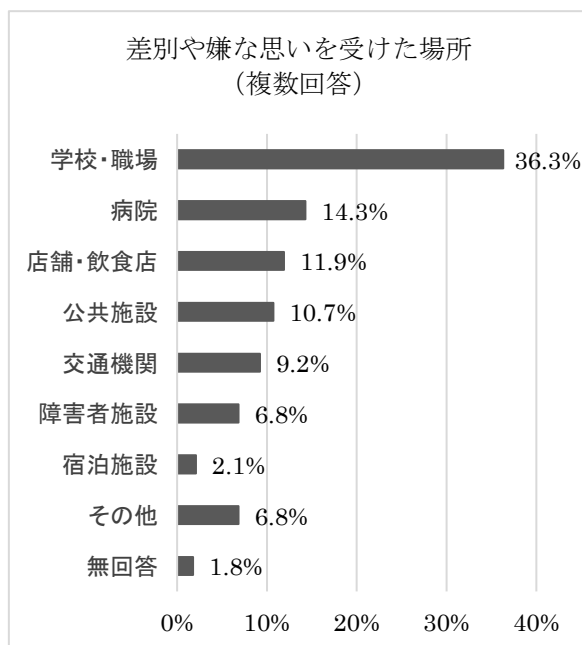
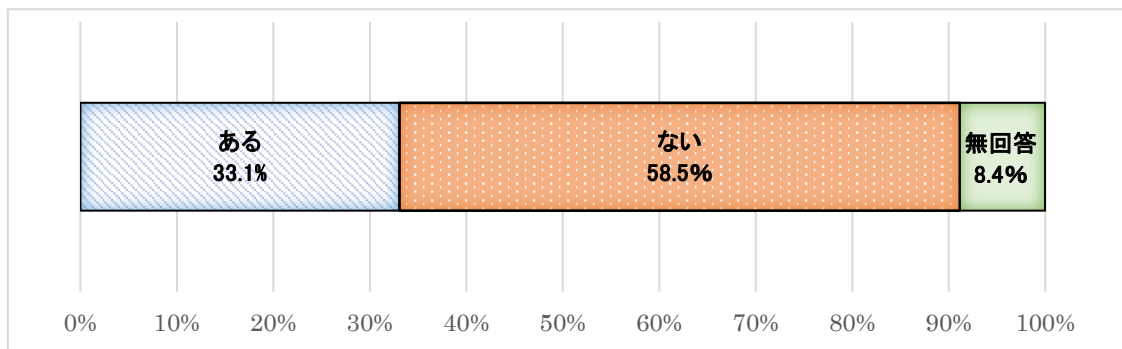
【18 歳以下の方の回答】



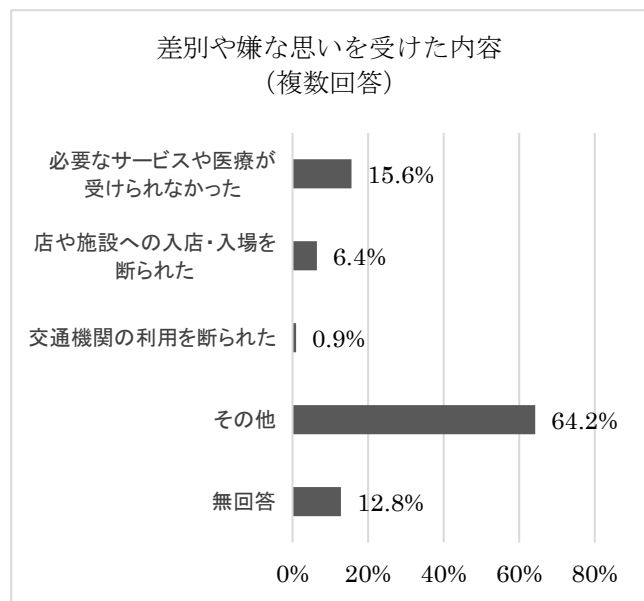
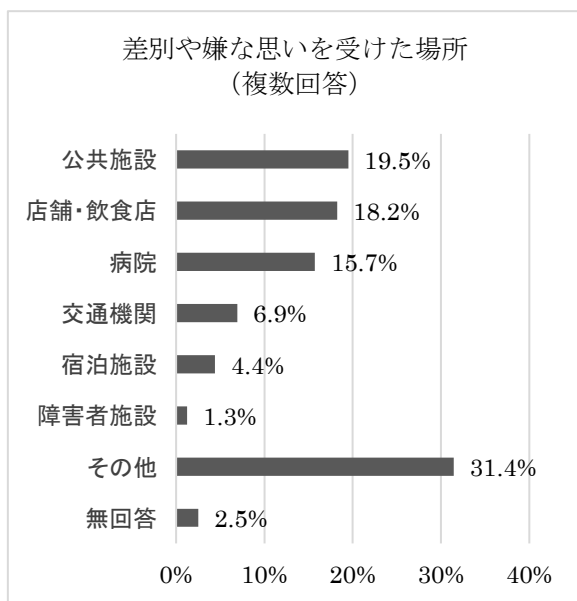
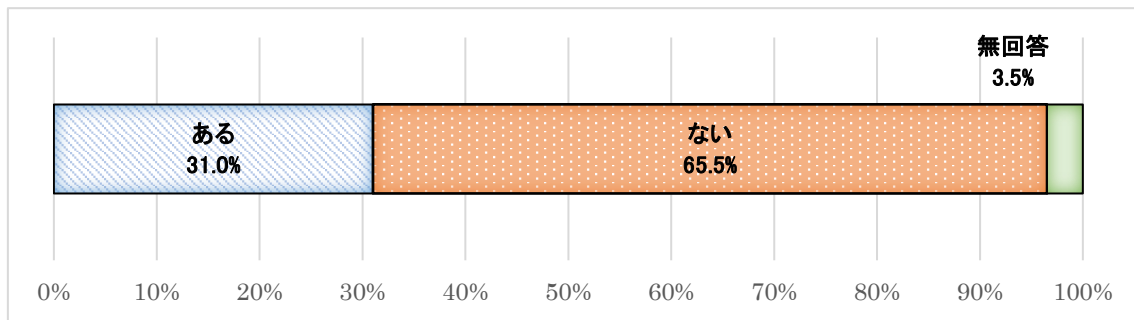
- ・「放課後等デイサービス」の割合が最も高い。
- ・「児童発達支援」4.9%、短期入所（ショートステイ）3.8%の割合も高くなっている。

問 18	障害があることで、差別や嫌な思いをしたことがありますか。
------	------------------------------

【19 歳以上の方の回答】 n=643



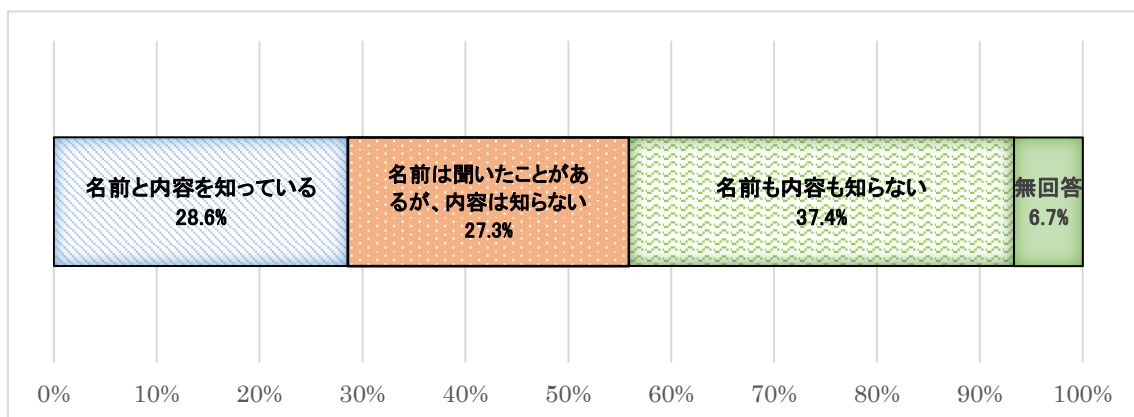
【18 歳以下の方の回答】 n=345



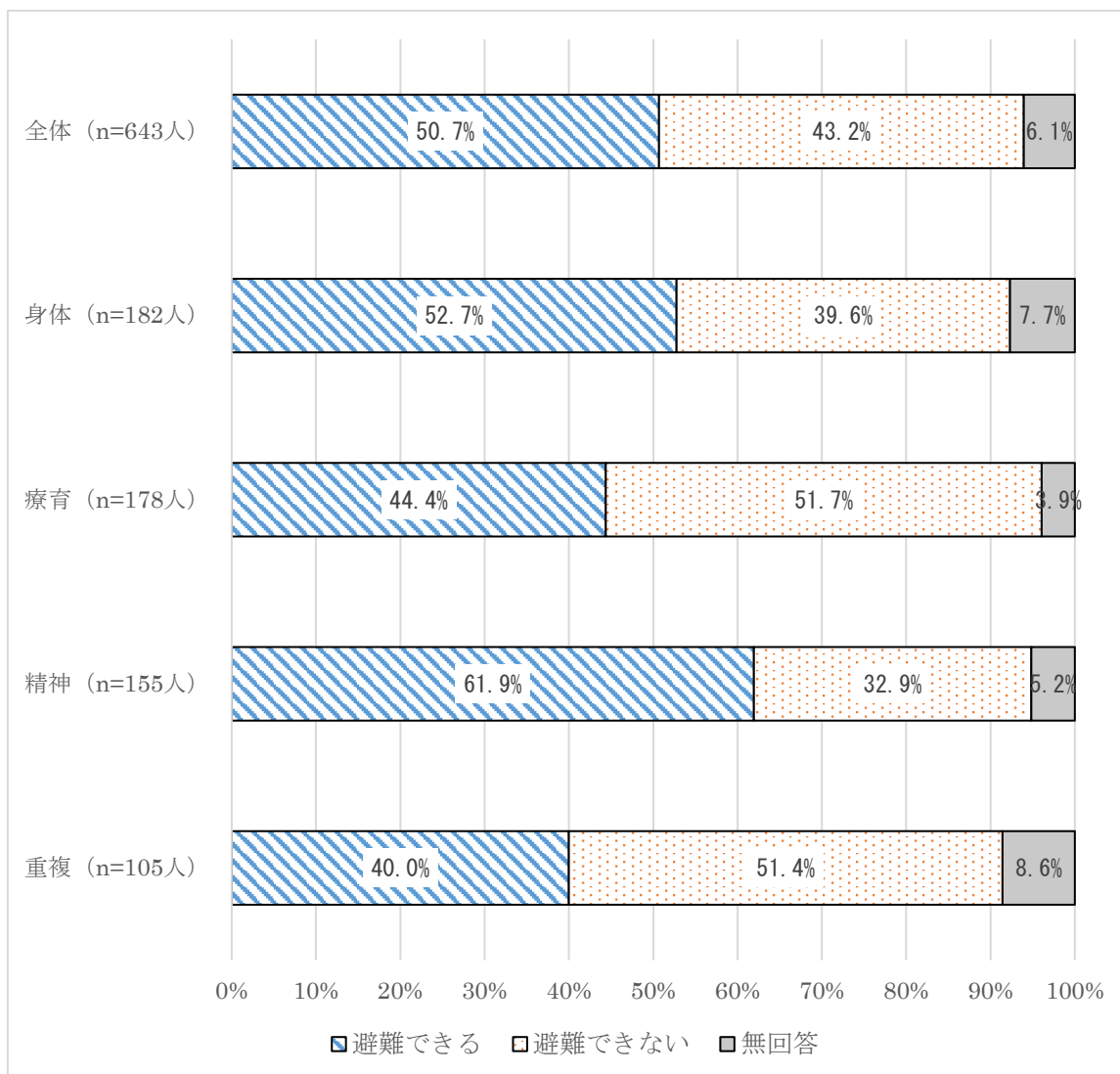
問 19

【19 歳以上の方のみ回答】

あなたは、成年後見制度についてご存じですか。

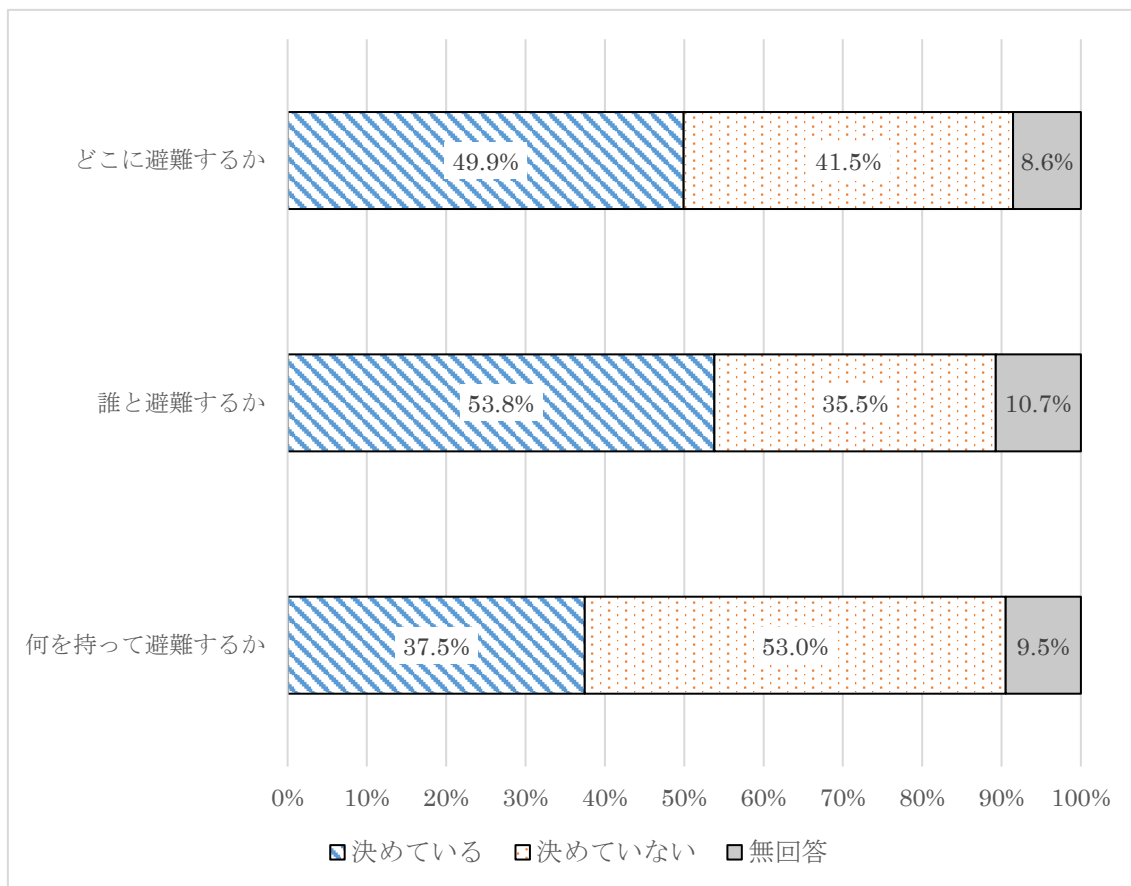


問 20	【19 歳以上の方のみ回答】 あなたは、自宅にいるときに、家事や地震、洪水等の災害時に一人で避難できますか。
------	--



- ・療育手帳所持者と複数の手帳所持者では、「避難できる」と回答した割合が 50%を下回っている。
- ・精神障害者保健福祉手帳の所持者では、「避難できる」と回答した割合が 61.9%と高くなっている。

問 21	【19 歳以上の方のみ回答】 あなたは自宅にいるときに、家事や地震、洪水等の災害時にどこに、だれと、何を持って避難するか決めていますか。
------	--

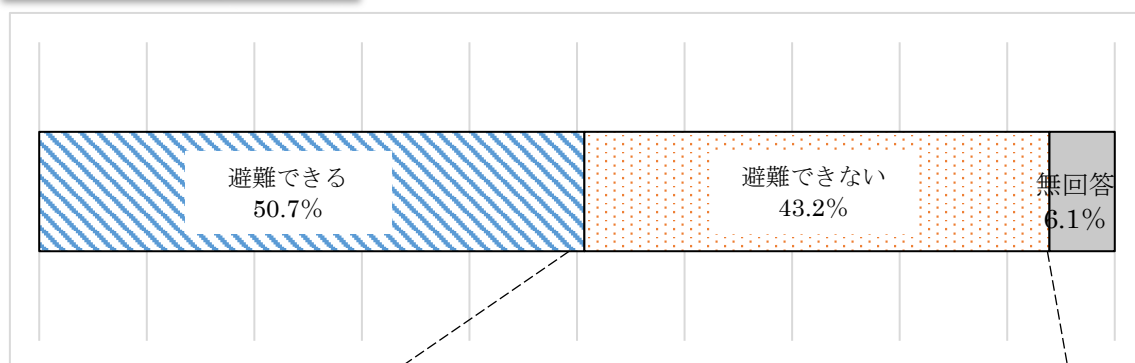


・避難場所と避難相手は決めている割合が高いが、持ち物については、決めていない割合の方が高い。

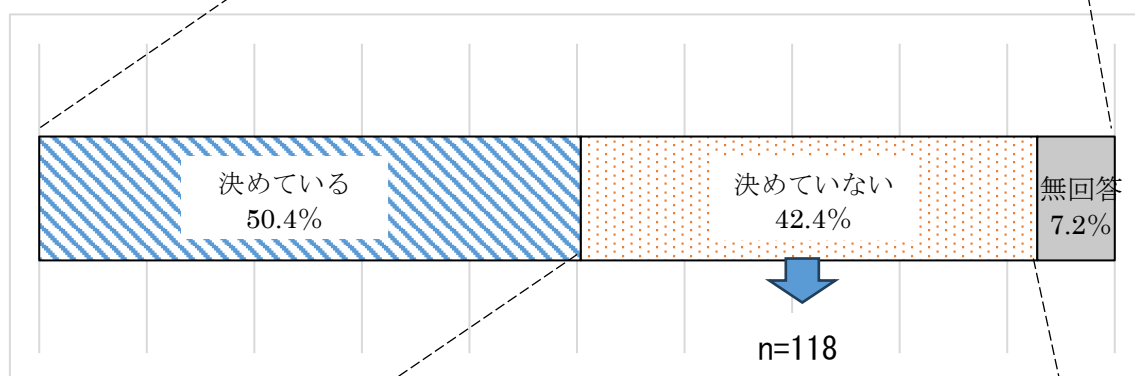
災害時の避難について詳細分析

問 20 で「一人で避難できない」と回答した人のうち、問 21 で「誰と避難するか決めていない」と回答した人はどれだけいるのか。また、その人たちの生活実態の内訳。

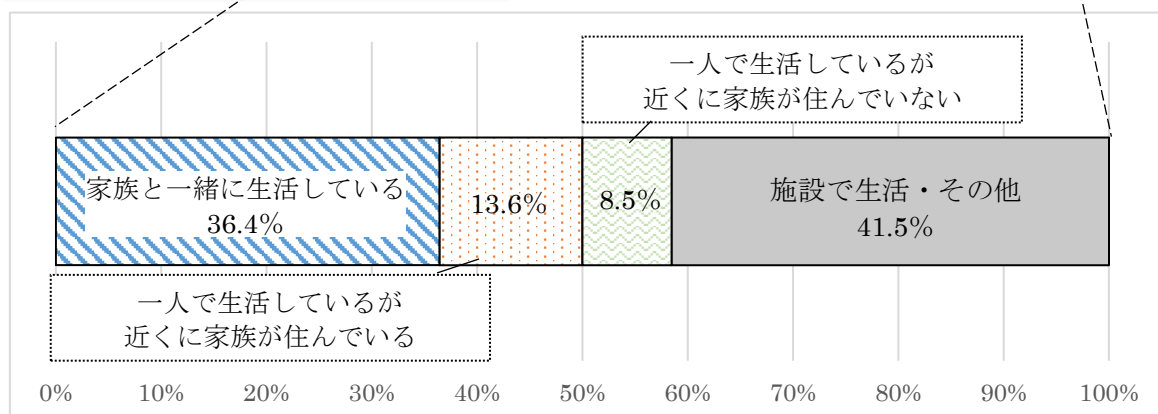
▼一人で避難できますか



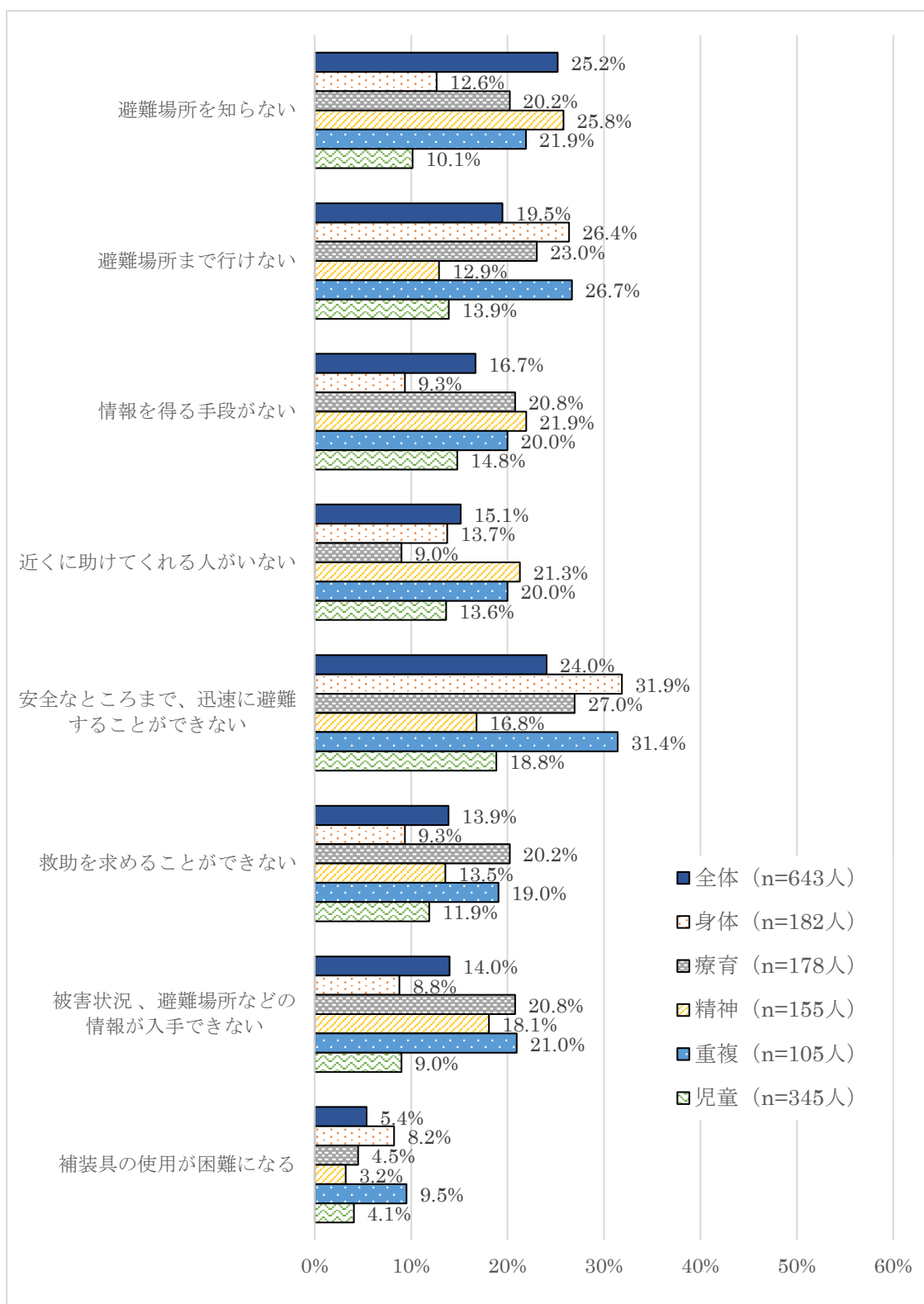
▼誰と避難するか決めていますか

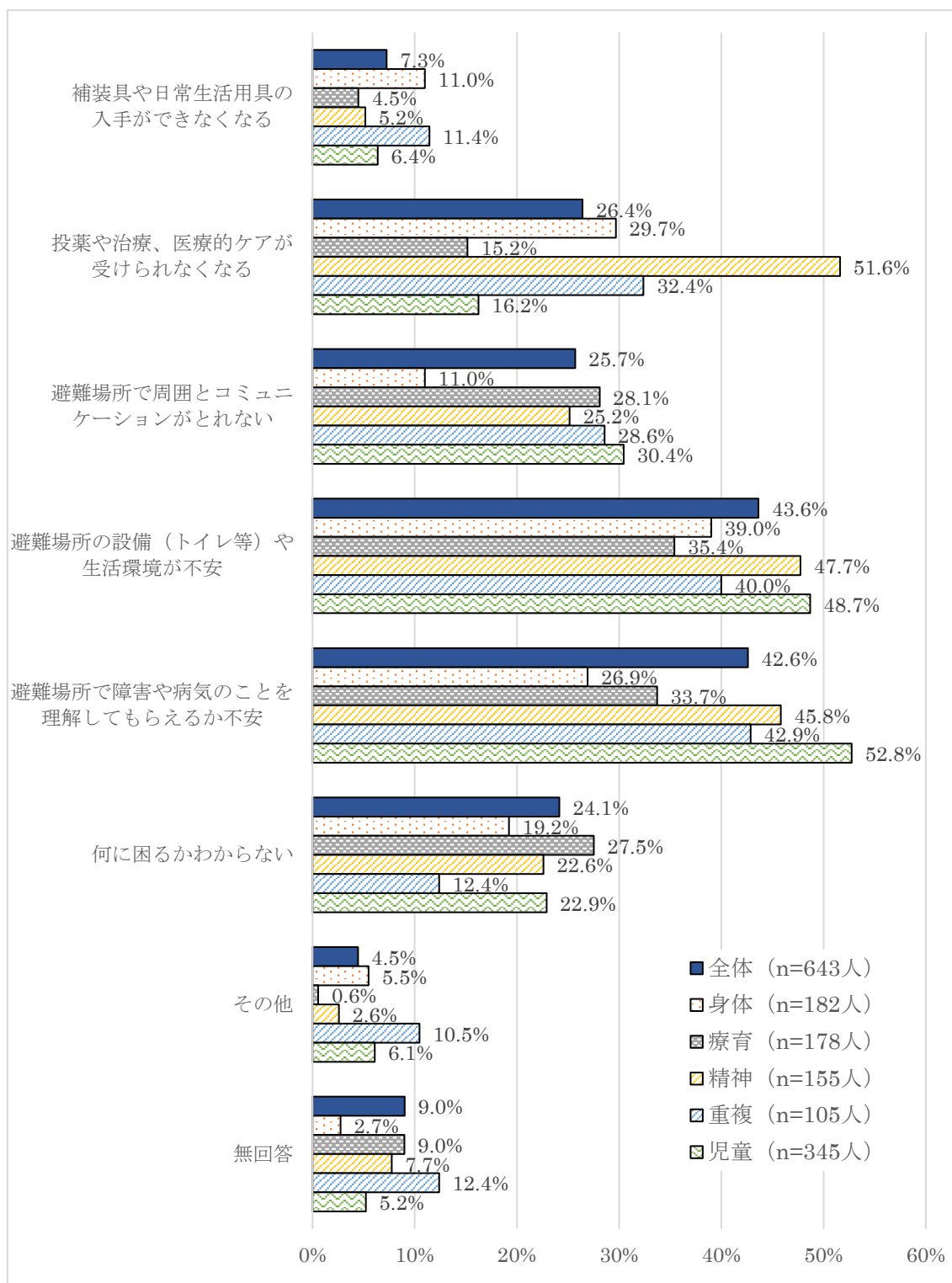


▼現在どのように生活していますか



問 22 災害時に困ることは何ですか。(複数回答)





- ・全体では「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」「避難場所での障害や病気のことを理解してもらえないか不安」の割合が高くなっている。
- ・児童においても同様の傾向となっている。
- ・精神障害者保健福祉手帳の所持者では、「投薬や治療、医療的ケアが受けられなくなる」の割合が50%を超えている。

問 22	現在利用している障害福祉サービスについてご意見・ご要望（自由記載）
------	-----------------------------------

▼主な意見・要望

【19 歳以上の方】

- ・重度利用者が利用できるグループホームが少ない。
- ・行動援護を提供する事業所がなくなって困っている。
- ・人員不足を理由に断られることがある。
- ・グループホームの家賃が高い。
- ・医療的ケアが受けられる短期入所施設が限られている。
- ・居宅介護のヘルパーが少ない。
- ・就労継続支援A型事業所の数を増やして欲しい。
- ・生活介護を2施設利用しているが、送迎の都合で利用したい日に利用できないことがある。
- ・移動支援に対応してくれるヘルパーが少なく、あまり出かけられない。
- ・ショートステイの利用日数をもっと増やして欲しい。
- ・就労継続支援B型の工賃が低すぎて生活できない。作業の能力でなく、居た時間で工賃が決まるため、やりがいがない。

【18 歳以下の方】

- ・18 歳になり、契約が成人に代わる際に、その手続きが誕生日を過ぎてからになったため、手続きが終わり利用料金がはっきりするまで施設の利用費が停止することが困った。
- ・学童児の受入れをしているショートステイが少なく、受け入れてもらえない。
- ・ファミサポを利用する際に市から補助がありありがたい。
- ・放課後等デイサービスを増やして欲しい。
- ・放課後等デイサービスの預かり時間の延長や土日の開設を希望する。
- ・中学生になると放課後児童クラブが利用できなくなるので不安である。
- ・児童発達支援センターの利用が月2回しかなく改善できるか不安である。

問 23	その他、ご意見・ご要望（自由記載）
------	-------------------

▼主な意見・要望

【19 歳以上の方】

○住まい・居住支援に関すること

- ・ 自立訓練（宿泊型）の福祉施設を利用しているが、建物の老朽化が進み、現在のニーズに合った居住環境になっていない。
- ・ 親が高齢になり介護ができなくなった際に入所できる施設が少ない。
- ・ グループホームの数が不足している。

○福祉サービス・支援体制に関すること

- ・ 福祉課及び施設職員の対応や言動により深く傷つき、人間不信になった。
- ・ 行動援護は重度障害者の外出支援として重要なため、今後も継続・充実してほしい。
- ・ 認知症の軽度者を対象としたデイケアサービスがほしい。

○防災・災害時支援に関すること

- ・ 災害時の避難場所まで距離があり、不安を感じている。
- ・ 福祉避難所に登録しているが、実際に避難所まで移動することが困難である。

○交流・居場所づくりに関すること

- ・ 友人を作ったり交流したりできる場所がほしい。
- ・ 障害について家族の理解が得られずつらい思いをしている。

○就労支援に関すること

- ・ 障害のある人が実際に働き、継続就労できている企業の求人情報を知りたい。
- ・ 障害者枠で就職したが、必要な配慮を受けられず退職することになった。
- ・ 障害者雇用で働き続けられる環境整備や就労訓練の充実が重要である。

○医療・健康に関すること

- ・ 高齢化や他の疾病を併発した場合でも、特に冬期間に透析治療を継続して受けられるか不安がある。

【18 歳以下の方】

○経済的支援に関すること

- ・ 特別支援学校へ進学予定だが、ひとり親のため送迎や送迎費用が心配である。
- ・ 入院が長期になると病院食の費用負担が大きい。
- ・ 遠方通院に伴う交通費助成について、高速道路利用時だけでなくガソリン代も支給してほしい。
- ・ 軽中度の知的障害児・者が利用できるサービスや手当の充実を望む。
- ・ 学校への送迎や通院対応があり、就労が難しい。
- ・ 放課後等デイサービスの支給日数を増やしてほしい。

○交流・情報提供・相談支援に関すること

- ・ もっと情報を提供してほしい。
- ・ 二分脊椎症のコミュニティが市内にないため、交流の場を作してほしい。
- ・ 情報交換や情報共有ができる機会や場所が多いとよい。
- ・ 高校生年代になるとつながりが少なく不安がある。
- ・ 同じ障害のある人同士が交流できる場がほしい。
- ・ 心身ともに休息できる時間やレスパイト支援の充実を望む。

○福祉サービス・支援体制に関すること

- ・ 放課後等デイサービスを利用したくてもキャンセル待ちとなることが高い。
- ・ 病児保育・病後児保育について、年齢制限を拡大し障害児も利用しやすくしてほしい。
- ・ 支援学級の先生によって対応が毎年変わるため、支援の継続性を確保してほしい。

○教育環境に関すること

- ・ 高田特別支援学校の児童生徒数増加により教室不足が生じており、未利用校舎の活用を検討してほしい。
- ・ 特別支援学校への通学支援や送迎体制を充実してほしい。

○バリアフリー・生活環境に関すること

- ・ 不衛生な多目的トイレが多い。
- ・ インクルーシブ公園があるとよい。
- ・ 車いすで利用できる飲食店を増やしてほしい。
- ・ 公共施設で大人用おむつ交換設備付きトイレが少ない。

○その他（総合的な要望）

- ・ 障害児者や家族が安心して生活できる地域づくりを進めてほしい。
- ・ 当事者・家族の負担軽減につながる支援の充実を望む。